第1回赤磐市まちづくり審議会
資料No. 6

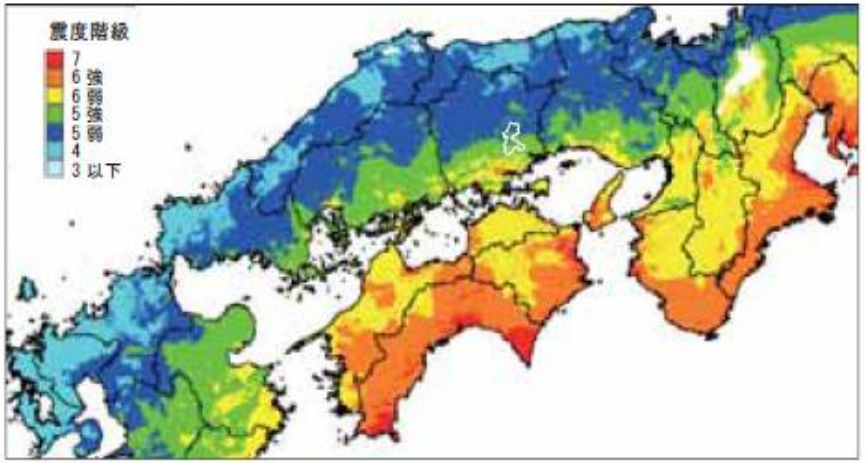
第2次赤磐市総合計画について（案）検討用資料

位置・地勢

●県南東部に位置し、総面積209．43㎢で市の東部には吉井川が流れている。
●赤磐市役所から県庁所在地の岡山市役所までは、約17kmの距離
●市の中央部から南部の平野には、砂川を軸として市街地と田園地帯が広がる。
●北部・東部にかけて広がる山地・丘陵地は、里山が点在する緑豊かな地域

南海トラフ巨大地震

■震度の最大値の分布図



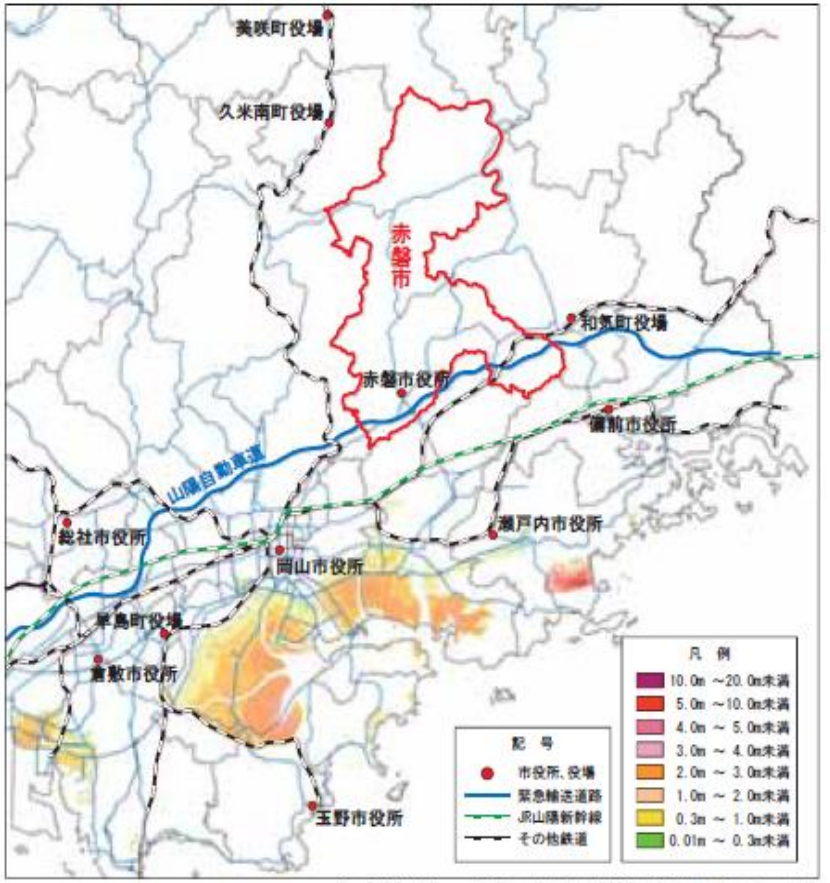
出典：内閣府　南海トラフ巨大地震対策について（最終報告）

赤磐市の最大計測震度 5.6、平均 5.1

赤磐市は南海トラフ巨大地震に対しても地震による揺れや液状化による被害の危険性が低い地域です。

また、内陸部に位置するため津波による被害の可能性は極めて低いといえます。

■最大津波浸水想定



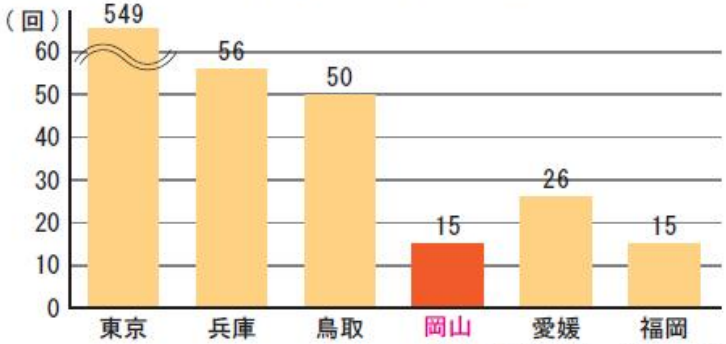
参考資料：岡山県危機管理課（H25.7）

出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」

▶▶大規模災害からのリスク回避

参考資料：文部科学省　地震調査研究推進本部、「理科年表」（国立天文台編）など

■震度４以上の地震　（1923 年～ 2013 年）



出典：気象庁ホームページ

- **大規模地震**
  岡山県にはほとんど活断層がなく、大規模地震発生の危険性が低く、過去における地震の発生も少ない地域です。
- **発電所事故**
  赤磐市は周辺の原子力発電所から 100km 圏外に位置し、発電所の事故による被害の危険性が低い地域です。

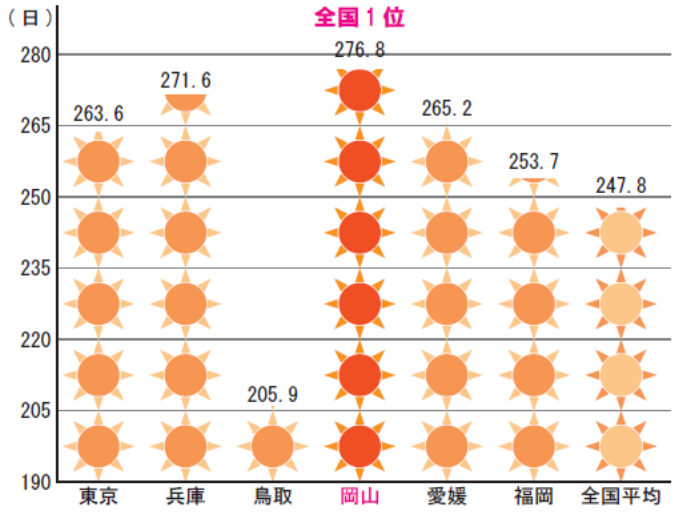
出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」

自然・気候

●瀬戸内式気候に属する。
●快晴日数の多さや日照時間の長さなど、温暖な気候と多様で身近な自然環境に恵まれた地域
●赤磐市の自然は農林業など生産活動の場であるとともに、水源かん養などの公益的機能を有している。

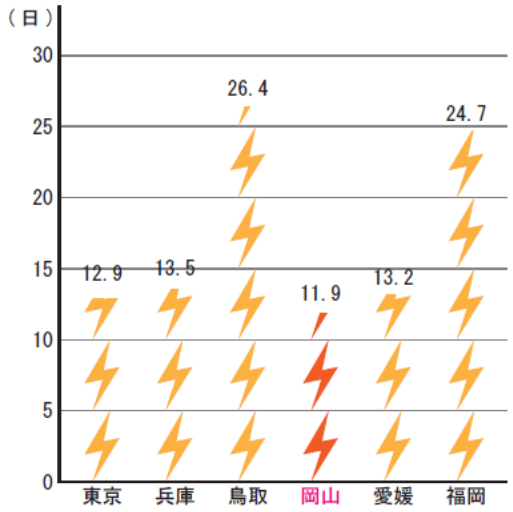
▶▶晴れの国おかやま

■晴れの日数（降水量 1mm 未満の日数の平年値）（1981 年～ 2010 年）



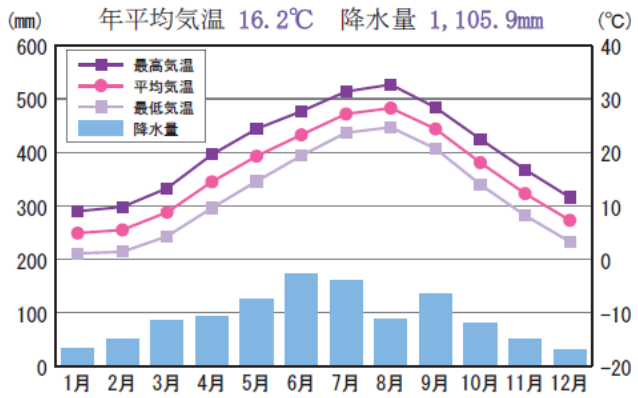
出典：気象庁ホームページ

■雷発生日数の平年値（1981 年～ 2010 年）



出典：気象庁ホームページ

■おかやまの降水量・気温の平年値（1981 年～ 2010 年）



出典：気象庁ホームページ

温暖な瀬戸内海式気候

岡山県は降水量の少ない温暖な気候に恵まれ、台風や集中豪雨などの風水害や積雪の影響が少ない地域です。

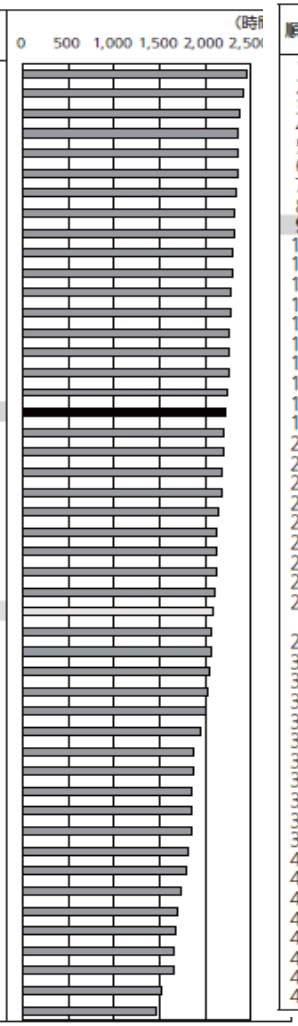
また、雷の発生日数が少ないことから、電気設備等に影響が及ぶ可能性が低く、天候に左右されにくい安定した企業活動が可能です。空の便では欠航が少ないことも特徴の一つです。

出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」

自然・気候

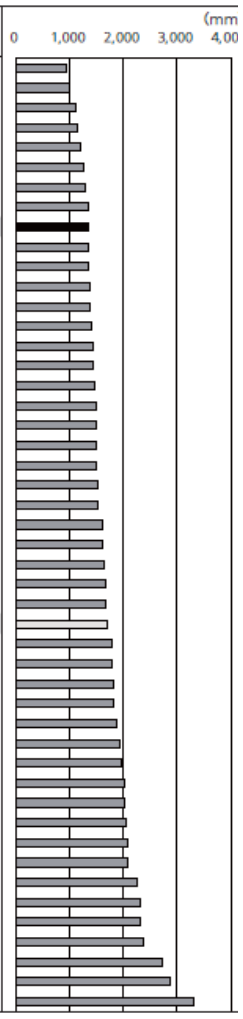
A−4　年間日照時間

順位	都道府県名	年間日照時間（時間）
1	山梨	2,461.5
2	宮崎	2,410.5
3	高知	2,372.9
4	群馬	2,366.4
5	三重	2,365.5
6	愛知	2,355.3
7	埼玉	2,336.2
8	徳島	2,326.8
9	岐阜	2,315.6
10	大阪	2,299.5
11	静岡	2,297.6
12	香川	2,288.1
13	和歌山	2,281.9
14	茨城	2,259.0
15	神奈川	2,256.7
16	兵庫	2,255.4
17	広島	2,248.8
18	**岡山**	**2,214.3**
19	愛媛	2,207.5
20	熊本	2,196.9
21	大分	2,185.9
22	鹿児島	2,182.9
23	千葉	2,135.3
24	東京	2,131.1
25	長野	2,129.8
26	栃木	2,127.9
27	佐賀	2,113.1
	全国平均	**2,075.1**
28	滋賀	2,073.4
29	福岡	2,058.5
30	山口	2,040.7
31	長崎	2,018.1
32	奈良	2,004.2
33	京都	1,939.8
34	宮城	1,879.5
35	石川	1,868.3
36	福島	1,844.3
37	島根	1,842.6
38	鳥取	1,842.0
39	沖縄	1,809.0
40	富山	1,785.9
41	福井	1,739.9
42	山形	1,696.0
43	岩手	1,670.7
44	新潟	1,661.6
45	北海道	1,647.9
46	青森	1,515.5
47	秋田	1,469.4



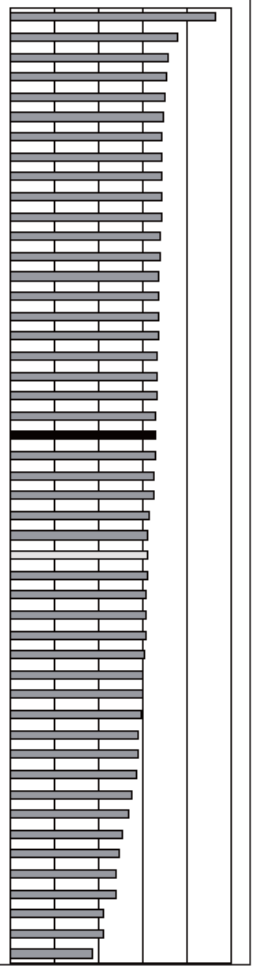
＊A−5　年間降水量

順位	都道府県名	年間降水量（mm）
1	山梨	939.0
2	群馬	998.5
3	宮城	1,111.5
4	長野	1,137.5
5	福島	1,202.0
6	埼玉	1,251.0
7	兵庫	1,297.5
8	茨城	1,338.0
9	**岡山**	**1,341.0**
10	北海道	1,347.0
10	山形	1,347.0
12	和歌山	1,369.5
13	三重	1,393.5
14	大阪	1,418.0
15	千葉	1,446.5
16	京都	1,450.5
17	愛知	1,463.5
18	滋賀	1,492.0
19	栃木	1,504.5
20	奈良	1,505.5
20	大分	1,505.5
22	神奈川	1,516.5
23	香川	1,537.0
24	東京	1,614.0
25	愛媛	1,622.5
26	岩手	1,643.0
27	青森	1,664.0
28	長崎	1,683.5
	全国平均	**1,715.0**
29	鹿児島	1,777.5
30	福岡	1,801.5
31	広島	1,820.5
32	静岡	1,822.0
33	岐阜	1,875.5
34	徳島	1,949.0
35	熊本	1,975.0
36	佐賀	2,012.0
37	島根	2,035.0
38	鳥取	2,048.0
39	沖縄	2,071.0
40	宮崎	2,079.5
41	山口	2,267.0
42	新潟	2,327.0
42	高知	2,327.0
44	秋田	2,373.0
45	福井	2,725.5
46	富山	2,862.5
47	石川	3,318.0



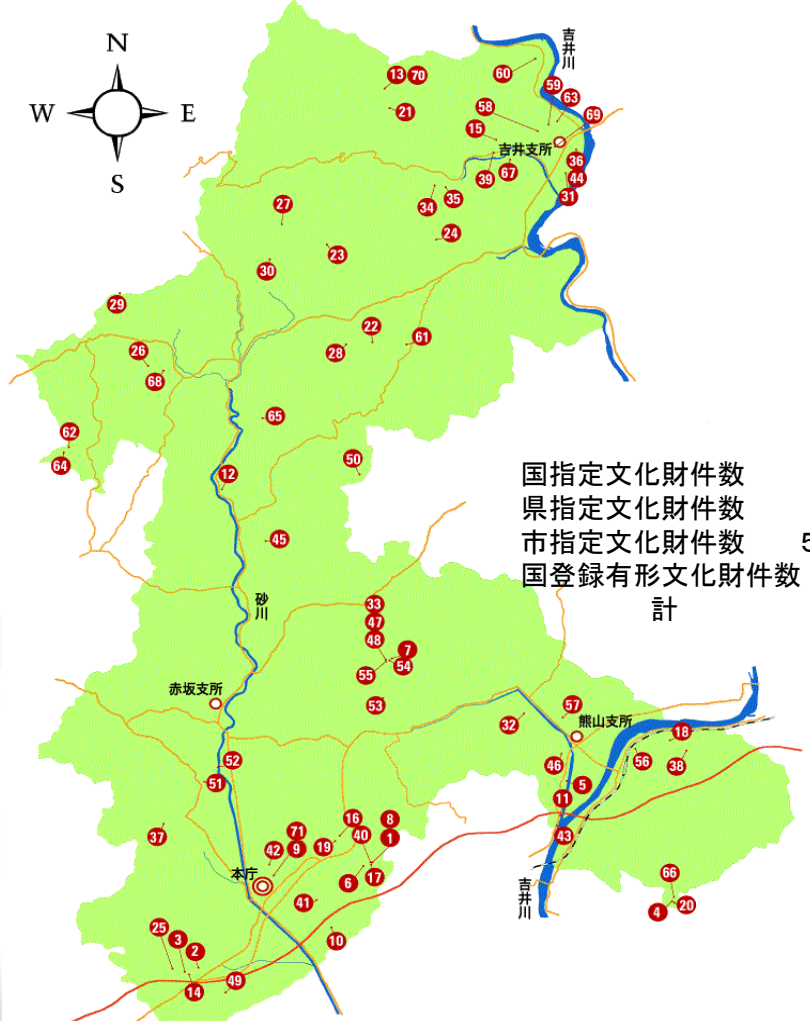
A−6　年平均気温

順位	都道府県名	年平均気温（℃）
1	沖縄	23.3
2	鹿児島	18.9
3	宮崎	17.9
4	福岡	17.7
5	長崎	17.5
6	高知	17.3
7	静岡	17.2
7	熊本	17.2
9	東京	17.1
9	大阪	17.1
9	佐賀	17.1
12	兵庫	17.0
12	和歌山	17.0
14	大分	16.9
15	徳島	16.8
15	香川	16.8
15	愛媛	16.8
18	千葉	16.6
18	神奈川	16.6
18	広島	16.6
21	三重	16.5
22	**岡山**	**16.4**
22	愛知	16.4
24	岐阜	16.3
25	京都	16.2
26	山口	15.8
27	埼玉	15.6
	全国平均	**15.6**
28	鳥取	15.5
29	山梨	15.4
29	島根	15.4
31	奈良	15.3
32	群馬	15.2
33	滋賀	15.1
34	石川	15.0
35	福井	14.9
36	富山	14.5
37	栃木	14.4
38	茨城	14.3
39	新潟	13.8
40	福島	13.4
41	宮城	12.7
42	長野	12.3
43	秋田	11.9
43	山形	11.9
45	岩手	10.6
46	青森	10.5
47	北海道	9.2



気象庁資料　平成25年1月～12月

歴史・文化・観光資源



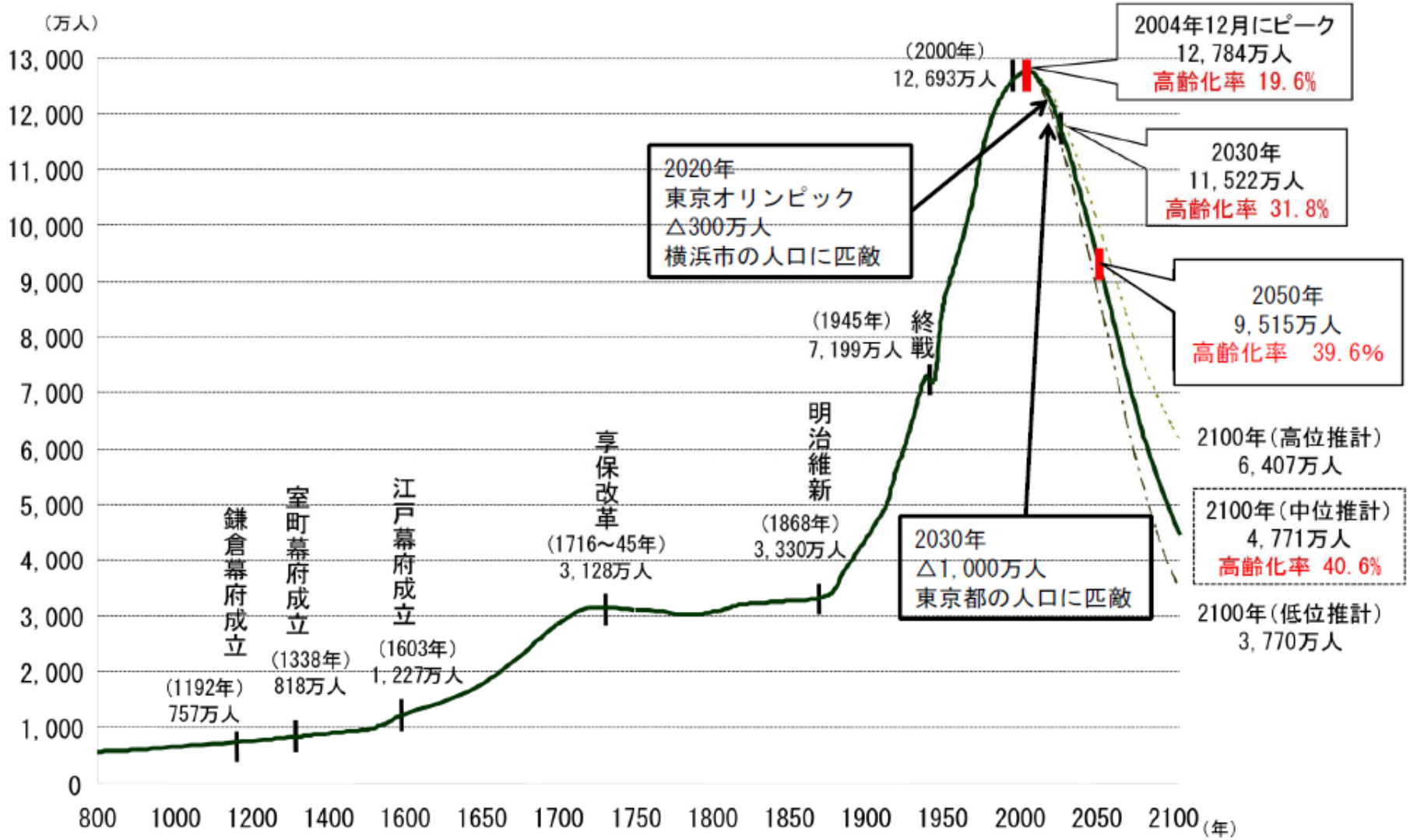
国指定文化財件数　4件
県指定文化財件数　9件
市指定文化財件数　57件
国登録有形文化財件数　1件
計　71件

①	備前四耳大壺	国指定	⑪	百間の石樋	県指定
②	両宮山古墳	国指定	⑫	松尾神社本殿	市指定
③	備前国分寺跡	国指定	⑬	宗形神社本殿	市指定
④	熊山遺跡	国指定	⑭	石造七重層塔	市指定
⑤	田原用水水路橋	県指定	⑮	石造九重層塔	市指定
⑥	石造方柱碑	県指定	⑯	北浦の板碑	市指定
⑦	石造十三重層塔	県指定	⑰	千光寺宝篋印塔	市指定
⑧	紺紙金泥法華経	県指定	⑱	奥吉原の宝篋印塔	市指定
⑨	小枝2号墳出土装飾付陶棺	県指定	⑲	北浦の宝篋印塔	市指定
⑩	南方前池遺跡	県指定	⑳	熊山の宝篋印塔	市指定

赤磐市作成資料

人口・世帯

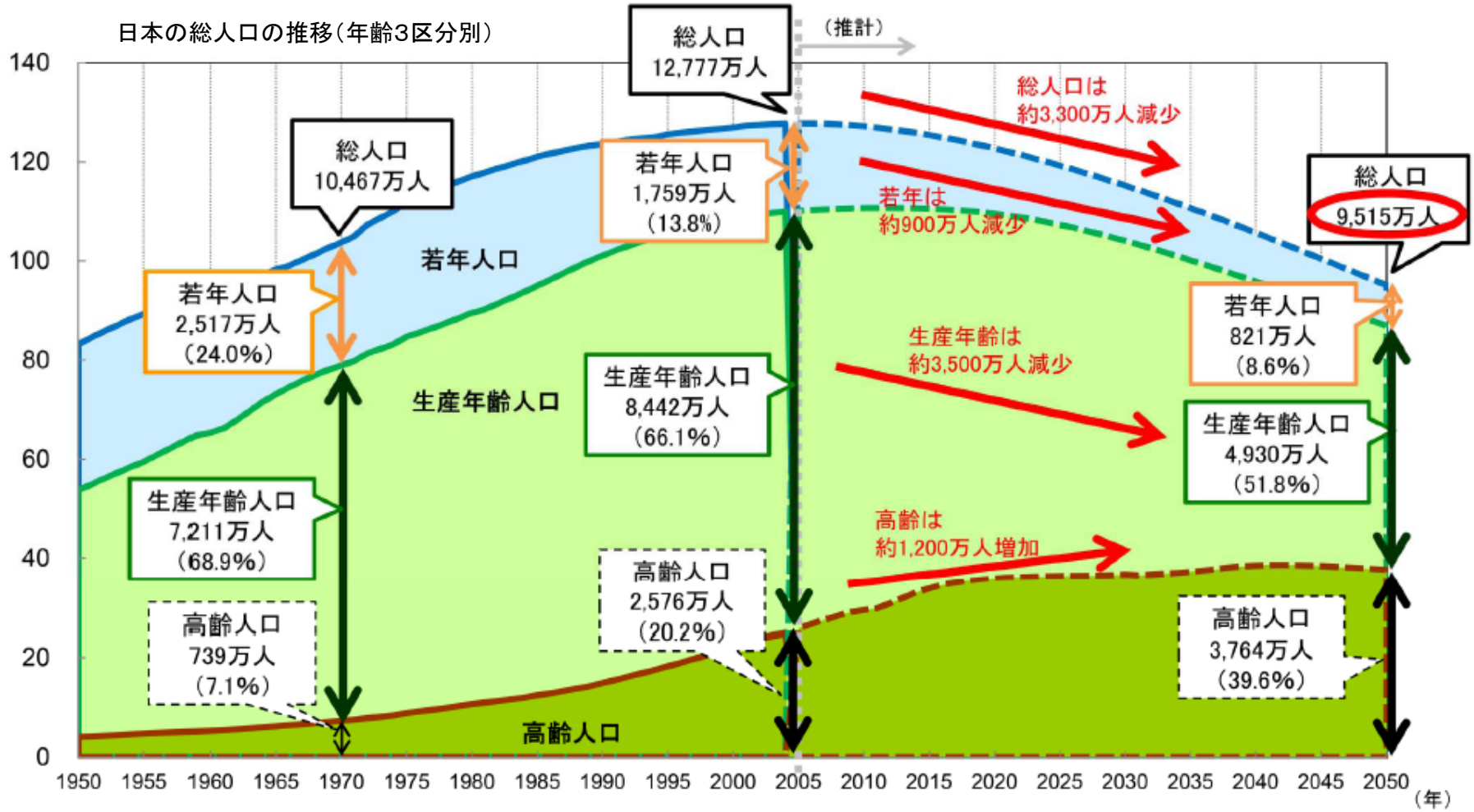
●日本の総人口は平成17年に戦後はじめてマイナスに転じ、人口減少局面に入ったとされる。
●今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていくことが予想されている。



「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会）

人口・世帯

●日本の総人口は、2050年には9，515万人となり、約25．5%（約3，300万人）減少
●高齢化率は、2025年には約30%、2050年には約40%に上昇する見込み。
●今後も日本の少子化傾向は続くと見られており、総人口における若年層の人口割合の減少は避けて通れない状況にある。



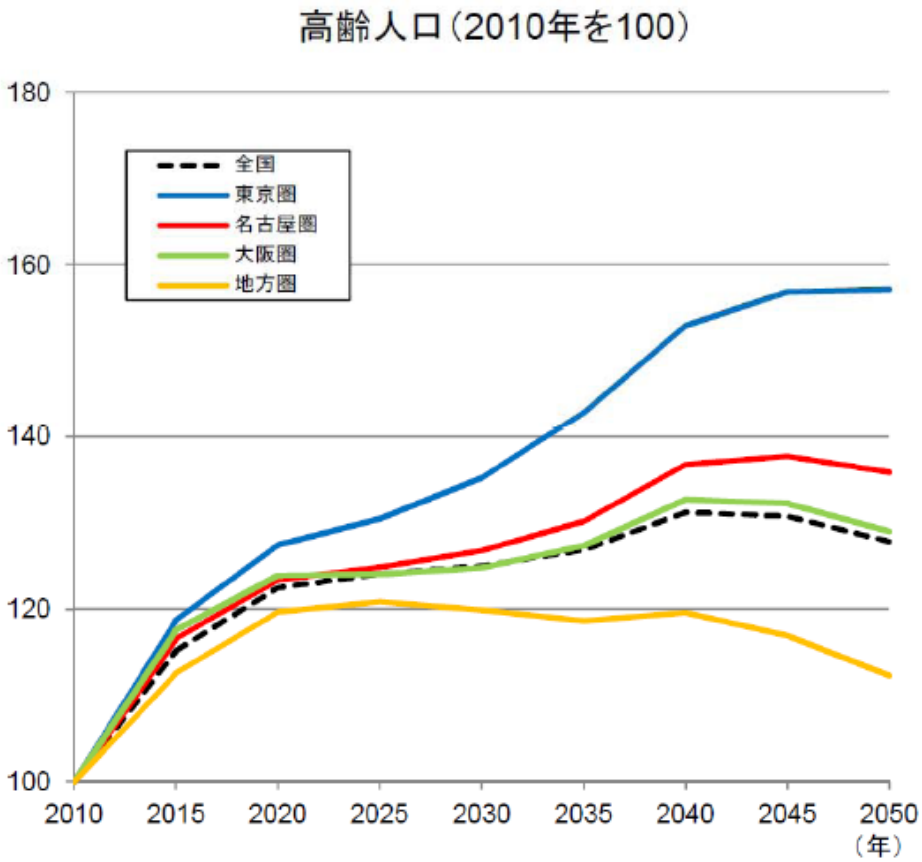
（注１）「生産年齢人口」は15～64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口
（注２）（　）内は若年人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合
（注３）2005年は、年齢不詳の人口を各歳別に按分して含めている
（注４）1950～1969、1971年は沖縄を含まない

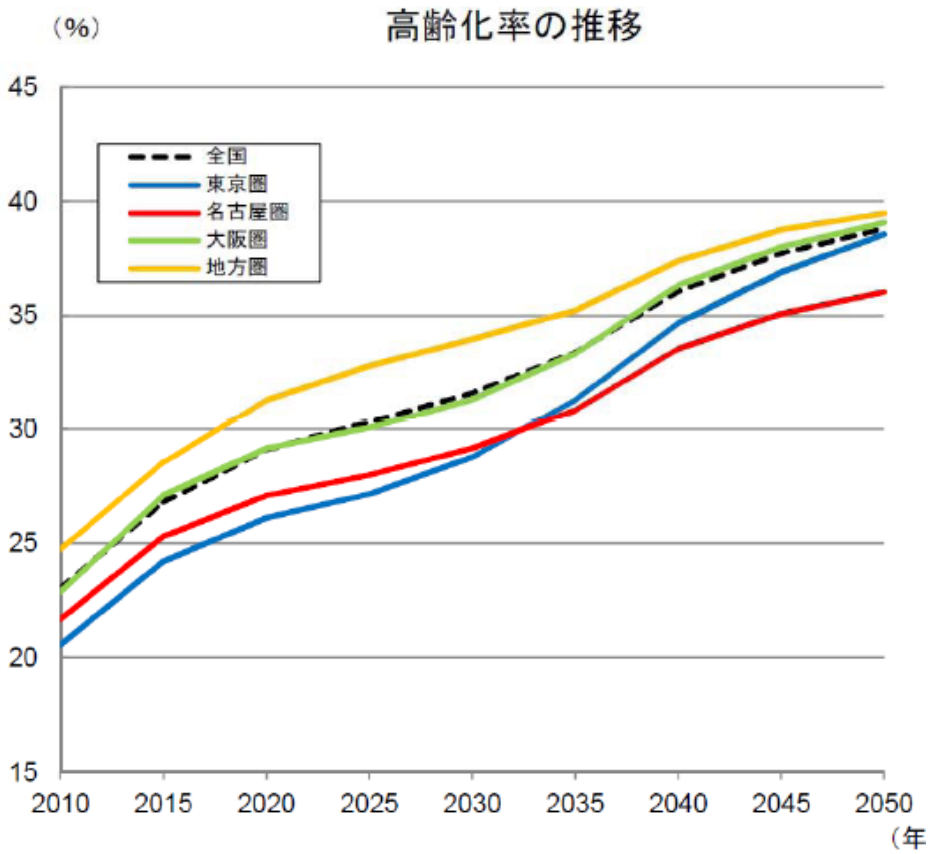
出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ　概要（平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会）

人口・世帯

●日本の高齢人口は、東京圏における増加が顕著だが、高齢化率をみると、地方圏が都市圏を一貫して上回って推移する。

高齢人口・高齢化率の推移

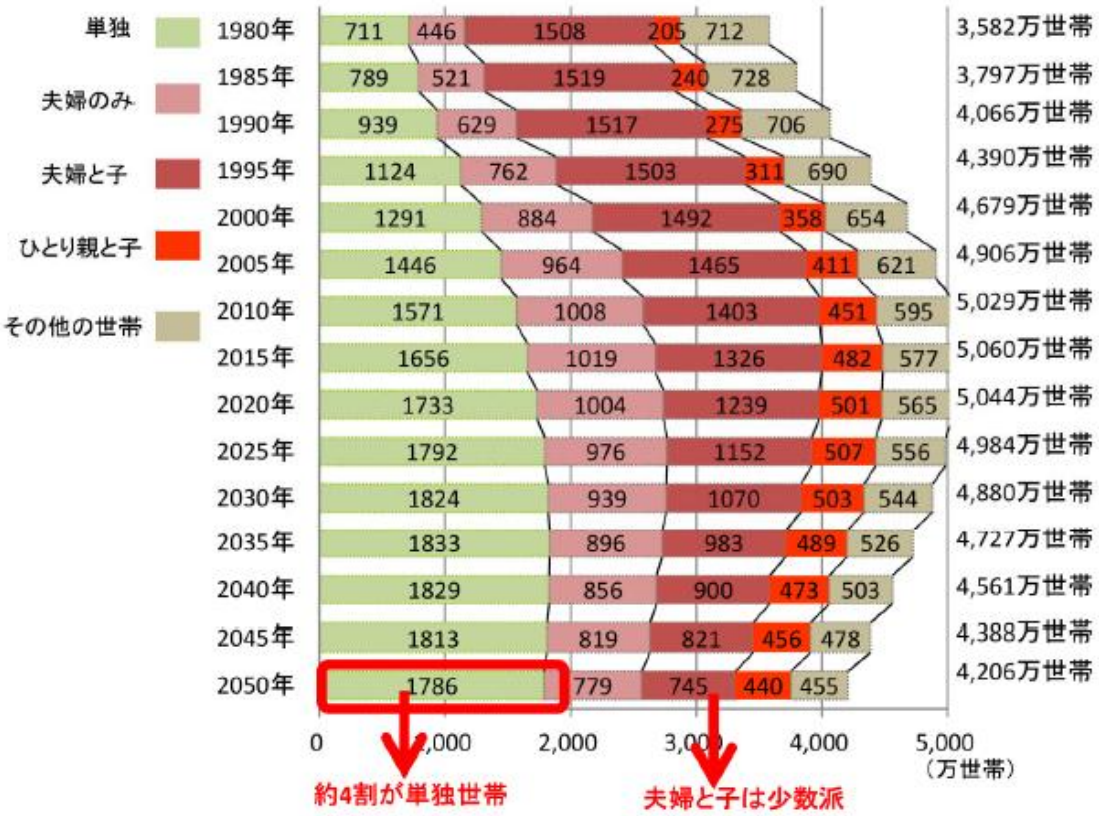




出典：国土交通省国土政策局「国土のグランドデザイン2050 参考資料」（平成26年7月4日公表）

人口・世帯

●これまで主流であった「夫婦と子」からなる世帯は、2050年には少数派となり、単独世帯が約4割を占め主流となる。
●2050年の単独世帯のうち、高齢者単独世帯の割合が5割を超える。



出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ　概要（平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会）

人口・世帯（岡山県）

●日本の合計特殊出生率は、依然低水準で推移している。
●岡山県の合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの、中国地方では一番低い。

図1　出生数及び合計特殊出生率の年次推移

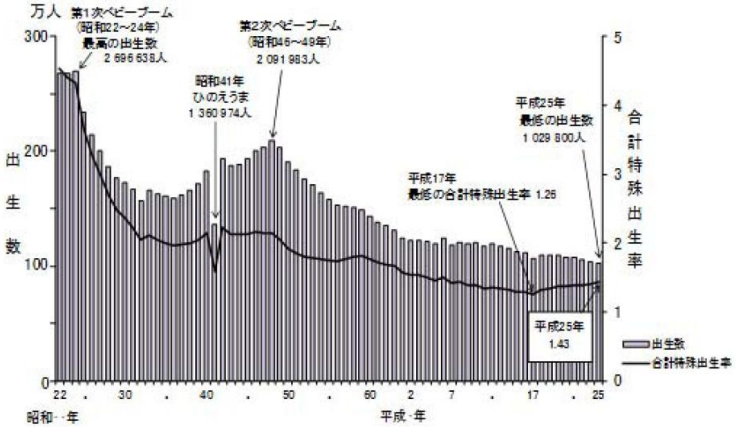


図2　合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

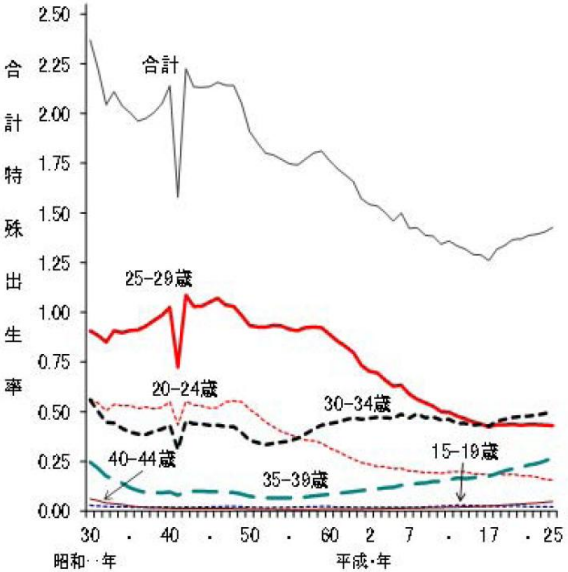


図3　都道府県別合計特殊出生率（平成25年）

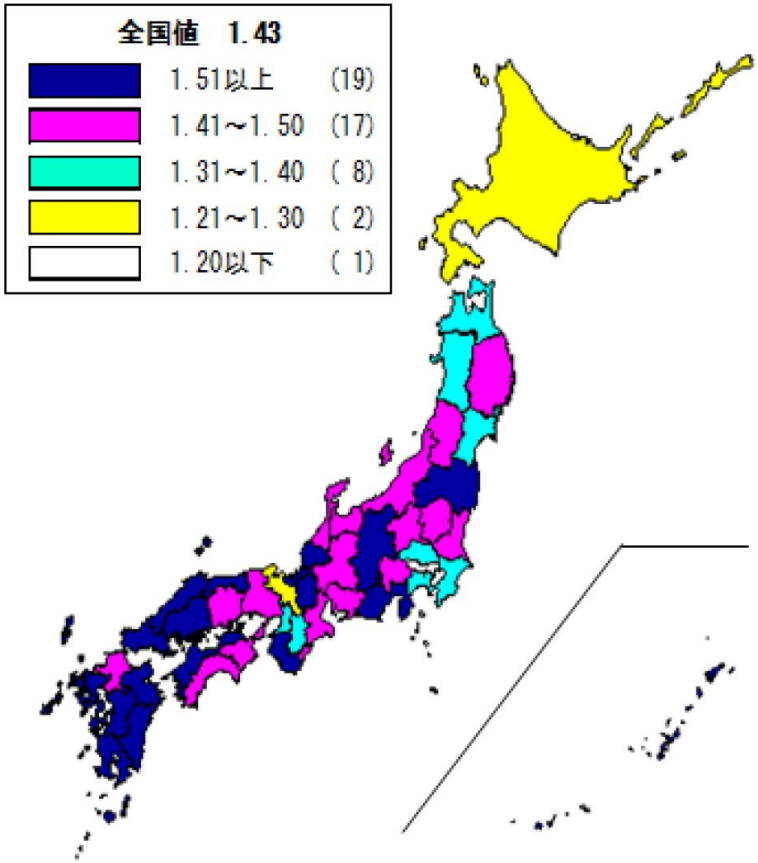


表　都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成25年	平成24年
全国	1.43	1.41
北海道	1.28	1.26
青森	1.40	1.36
岩手	1.46	1.44
宮城	1.34	1.30
秋田	1.35	1.37
山形	1.47	1.44
福島	1.53	1.41
茨城	1.42	1.41
栃木	1.43	1.43
群馬	1.41	1.39
埼玉	1.33	1.29
千葉	1.33	1.31
東京	1.13	1.09
神奈川	1.31	1.30
新潟	1.44	1.43
富山	1.43	1.42
石川	1.49	1.47
福井	1.60	1.60
山梨	1.44	1.43
長野	1.54	1.51
岐阜	1.45	1.45
静岡	1.53	1.52
愛知	1.47	1.46
三重	1.49	1.47
滋賀	1.53	1.53
京都	1.26	1.23
大阪	1.32	1.31
兵庫	1.42	1.40
奈良	1.31	1.32
和歌山	1.52	1.53
鳥取	1.62	1.57
島根	1.65	1.68
岡山	1.49	1.47
広島	1.57	1.54
山口	1.56	1.52
徳島	1.43	1.44
香川	1.59	1.56
愛媛	1.52	1.52
高知	1.47	1.43
福岡	1.45	1.43
佐賀	1.59	1.61
長崎	1.64	1.63
熊本	1.65	1.62
大分	1.56	1.53
宮崎	1.72	1.67
鹿児島	1.63	1.64
沖縄	1.94	1.90

厚生労働省大臣官房統計情報部「平成25年人口動態統計月報年計（概数）の概況」（平成26年6月公表）

人口・世帯（岡山県）

●東京大学客員教授　増田寛也氏による、「地方から大都市圏への人口移動が収束しないケースにおける2040年時点での県内消滅可能性自治体

No	団体名	総人口			20～39歳女性人口				
		2010年	2040年	増減率	2010年	構成比	2040年	構成比	増減率
1	岡山市	709,584	657,293	▲ 7.4	96,664	13.6	71,481	10.9	▲ 26.1
2	倉敷市	475,513	422,884	▲ 11.1	61,060	12.8	43,917	10.4	▲ 28.1
3	津山市	106,788	73,674	▲ 31.0	11,959	11.2	6,062	8.2	▲ 49.3
4	玉野市	64,588	41,691	▲ 35.5	6,475	10.0	2,886	6.9	▲ 55.4
5	笠岡市	54,225	34,032	▲ 37.2	5,290	9.8	2,234	6.6	▲ 57.8
6	井原市	43,927	31,906	▲ 27.4	4,237	9.6	2,580	8.1	▲ 39.1
7	総社市	66,201	53,045	▲ 19.9	8,022	12.1	4,833	9.1	▲ 39.8
8	高梁市	34,963	18,290	▲ 47.7	3,103	8.9	910	5.0	▲ 70.7
9	新見市	33,870	19,972	▲ 41.0	2,741	8.1	1,287	6.4	▲ 53.1
10	備前市	37,839	20,986	▲ 44.5	3,539	9.4	1,412	6.7	▲ 60.1
11	瀬戸内市	37,852	26,136	▲ 31.0	3,948	10.4	1,956	7.5	▲ 50.5
12	赤磐市	43,458	32,812	▲ 24.5	4,685	10.8	2,683	8.2	▲ 42.7
13	真庭市	48,964	29,941	▲ 38.9	4,055	8.3	1,942	6.5	▲ 52.1
14	美作市	30,498	18,005	▲ 41.0	2,590	8.5	1,236	6.9	▲ 52.3
15	浅口市	36,114	24,822	▲ 31.3	3,663	10.1	1,908	7.7	▲ 47.9
16	和気町	15,362	9,469	▲ 38.4	1,411	9.2	691	7.3	▲ 51.0
17	早島町	12,214	11,542	▲ 5.5	1,605	13.1	1,296	11.2	▲ 19.3
18	里庄町	10,916	9,526	▲ 12.7	1,247	11.4	974	10.2	▲ 21.9
19	矢掛町	15,092	10,442	▲ 30.8	1,377	9.1	857	8.2	▲ 37.7
20	新庄村	957	563	▲ 41.2	66	6.9	31	5.5	▲ 53.4
21	鏡野町	13,580	9,329	▲ 31.3	1,209	8.9	735	7.9	▲ 39.2
22	勝央町	11,195	9,103	▲ 18.7	1,228	11.0	877	9.6	▲ 28.6
23	奈義町	6,085	3,616	▲ 40.6	521	8.6	233	6.4	▲ 55.3
24	西粟倉村	1,520	1,008	▲ 33.7	138	9.1	69	6.8	▲ 50.2
25	久米南町	5,296	3,056	▲ 42.3	353	6.7	189	6.2	▲ 46.4
26	美咲町	15,642	9,370	▲ 40.1	1,310	8.4	615	6.6	▲ 53.1
27	吉備中央町	13,033	7,681	▲ 41.1	990	7.6	413	5.4	▲ 58.2
市計		1,824,384	1,505,490	▲ 17.5	222,031	12.2	147,327	9.8	▲ 33.6
町村計		120,892	84,704	▲ 29.9	11,455	9.5	6,980	8.2	▲ 39.1
岡山県		1,945,276	1,590,194	▲ 18.3	233,488	12.0	154,307	9.7	▲ 33.9
全国		128,057,352	106,059,786	▲ 17.2	15,842,260	12.4	10,075,475	9.5	▲ 36.4

※1　2010年人口は、平成22年国勢調査人口による。（ただし、「20～39歳女性人口」については、平成22年国勢調査における「国籍及び年齢不詳人口」を按分計上した基準人口（国立社会保障・人口問題研究所作成）による）
※2　2040年人口は、「ストップ少子化・地方元気戦略」（平成26年5月8日　日本創成会議・人口問題検討分科会）による。
※3　黄色塗りつぶしは、人口移動が収束しない場合において、2040年に若年女性が50%以上減少する市町村（岡山県で14市町村※全国で896市町村）

人口・世帯（赤磐市）

●赤磐市の人口も平成18年以降は減少傾向が続いている。
●拠点的役割を担う市役所所在地域の人口減少が確認できる。熊山地域（桜が丘団地）では人口増加が確認できる。
●15歳未満の年少人口が減少している一方、65歳以上の老年人口は増加傾向にある。
●1世帯当たりの世帯員数が減少している。今後は、こうした核家族化のさらなる進行により高齢者のみの世帯数の増加が予想される。
●赤磐市全体の高齢化率は平成22年時点で29．3%であり、今後も上昇傾向は続く見込み。
●今後はさらに、後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回り、その構成比を高めていく見込み。
●過疎地域に指定されている吉井地域では、他の地域より早く少子高齢化が進行している。

赤磐市の人口推移

地域別人口	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
山陽地域	21,129	22,034	23,986	24,604	24,989	24,478
年少(15歳未満)人口割合	28.2%	22.4%	18.7%	16.6%	15.3%	14.5%
生産年齢(15～64歳)人口割合	62.2%	66.0%	67.5%	67.2%	64.7%	60.8%
老年(65歳以上)人口割合	9.6%	11.6%	13.8%	16.2%	20.0%	24.7%
赤坂地域	5,571	5,513	5,482	5,246	4,896	4,527
年少(15歳未満)人口割合	19.9%	17.6%	14.8%	13.4%	12.6%	11.6%
生産年齢(15～64歳)人口割合	62.3%	62.2%	62.2%	60.8%	59.4%	56.4%
老年(65歳以上)人口割合	17.8%	20.2%	23.0%	25.8%	28.0%	32.1%
熊山地域	6,888	7,249	7,677	8,477	9,028	9,850
年少(15歳未満)人口割合	21.2%	19.9%	17.5%	16.7%	15.6%	16.1%
生産年齢(15～64歳)人口割合	63.1%	62.9%	62.4%	61.1%	61.4%	60.5%
老年(65歳以上)人口割合	15.8%	17.2%	20.1%	22.2%	23.0%	23.4%
吉井地域	6,417	6,220	5,866	5,486	5,000	4,603
年少(15歳未満)人口割合	17.5%	16.4%	14.6%	12.8%	10.8%	9.6%
生産年齢(15～64歳)人口割合	61.3%	59.4%	55.8%	54.3%	53.4%	53.5%
老年(65歳以上)人口割合	21.2%	24.2%	29.6%	32.9%	35.8%	36.9%
合計	40,005	41,016	43,011	43,813	43,913	43,458
年少(15歳未満)人口合計	9,653	8,368	7,485	6,892	6,383	6,091
生産年齢(15～64歳)人口合計	24,879	26,227	27,680	27,897	27,290	25,842
老年(65歳以上)人口合計	5,469	6,411	7,846	9,023	10,224	11,489

国勢調査

人口・世帯（赤磐市）

赤磐市の世帯数推移

地域	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
山陽地域	5,806	6,241	7,289	7,902	8,472	8,667
赤坂地域	1,495	1,512	1,599	1,591	1,587	1,539
熊山地域	1,685	1,838	2,114	2,529	2,882	3,352
吉井地域	1,868	1,859	1,869	1,849	1,808	1,716
総世帯数	10,854	11,450	12,871	13,871	14,749	15,274
1世帯当たりの世帯員数	3.69	3.58	3.34	3.15	2.98	2.85

国勢調査

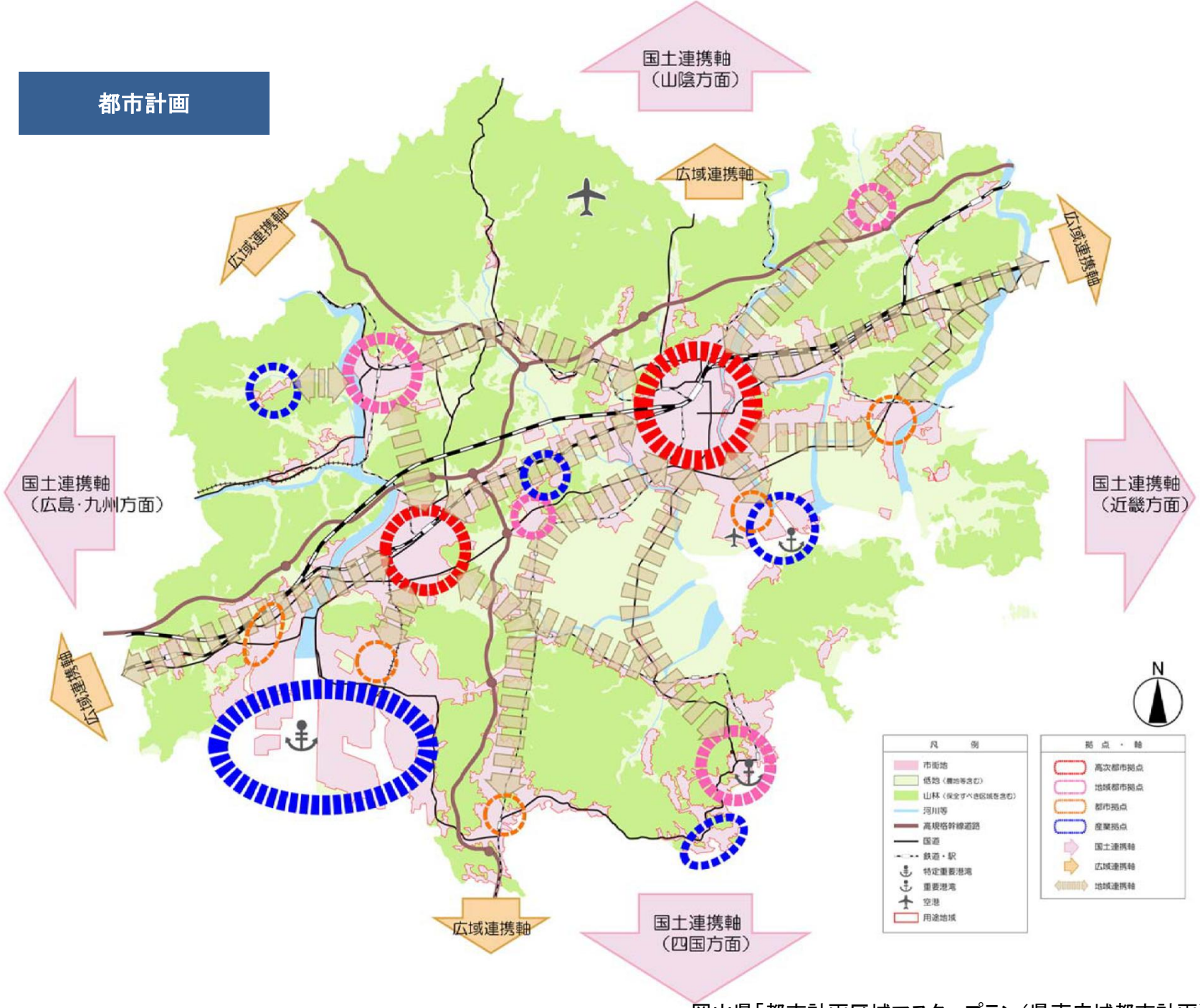
年間の人口動態及びその理由

（単位：人）

年次 市町	10月1日現在人口			1年間の人口動態			
	総数	男	女	自然動態	社会動態	外国人増減数	人口増減数
平成12年	43,813	20,815	22,998	▲ 89	339	▲ 1	249
平成13年	43,896	20,893	23,003	▲ 86	176	▲ 7	83
平成14年	44,060	20,982	23,078	▲ 45	207	2	164
平成15年	44,166	20,996	23,170	▲ 125	248	▲ 17	106
平成16年	44,282	21,027	23,255	▲ 78	185	9	116
平成17年	43,913	20,787	23,126	▲ 100	74	9	▲ 17
平成18年	43,840	20,751	23,089	▲ 106	▲ 20	53	▲ 73
平成19年	43,743	20,696	23,047	▲ 145	35	13	▲ 97
平成20年	43,615	20,658	22,957	▲ 162	18	16	▲ 128
平成21年	43,455	20,565	22,890	▲ 204	55	▲ 11	▲ 160
平成22年	43,458	20,606	22,852	▲ 177	124	▲ 10	▲ 63
平成23年	43,327	20,556	22,771	▲ 205	65	9	131
平成24年	43,291	20,540	22,751	▲ 144	109	▲ 1	▲ 36
平成25年	43,259	20,547	22,712	▲ 176	144	28	▲ 32

10月1日現在の人口は、平成12年、平成17年及び平成22年は、国勢調査の人口
平成13年～平成16年は、平成12年の、平成18年は、平成17年の国勢調査結果の人口にその後の人口移動を加減して集計したもの。
人口動態については、10月1日から9月30日までの住民基本台帳の出生・死亡・転入・転出の数及び外国人登録人員の数の増減

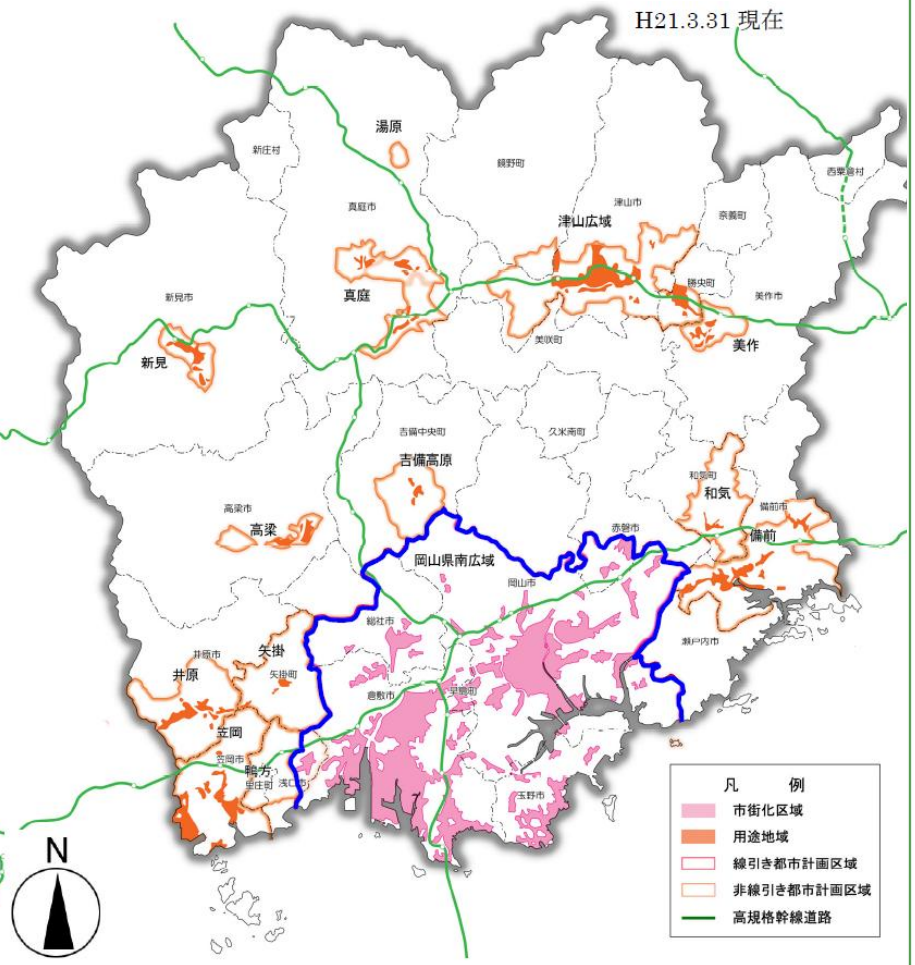
都市計画

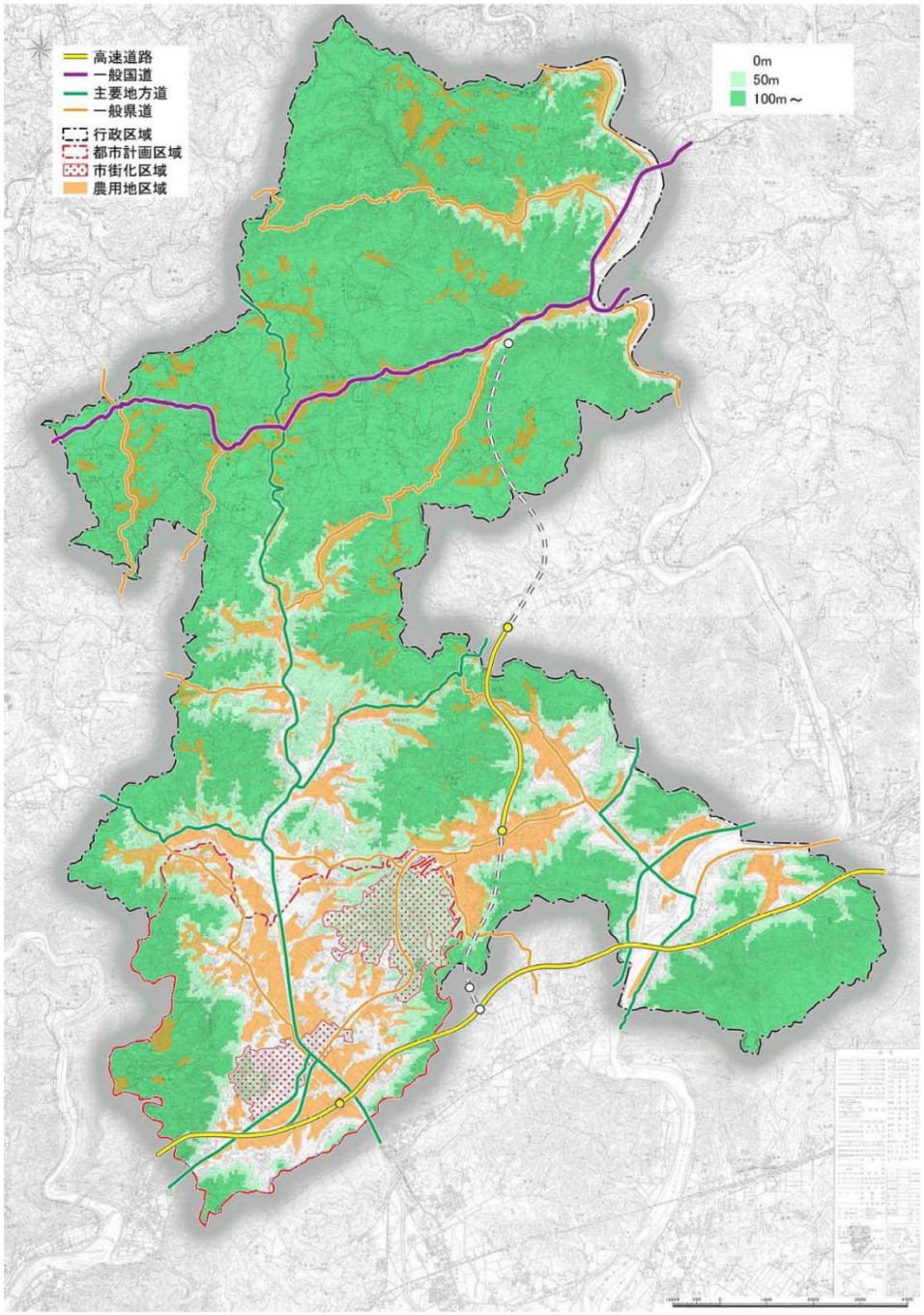


【将来都市構造図】

岡山県「都市計画区域マスタープラン（県南広域都市計画）」

都市計画

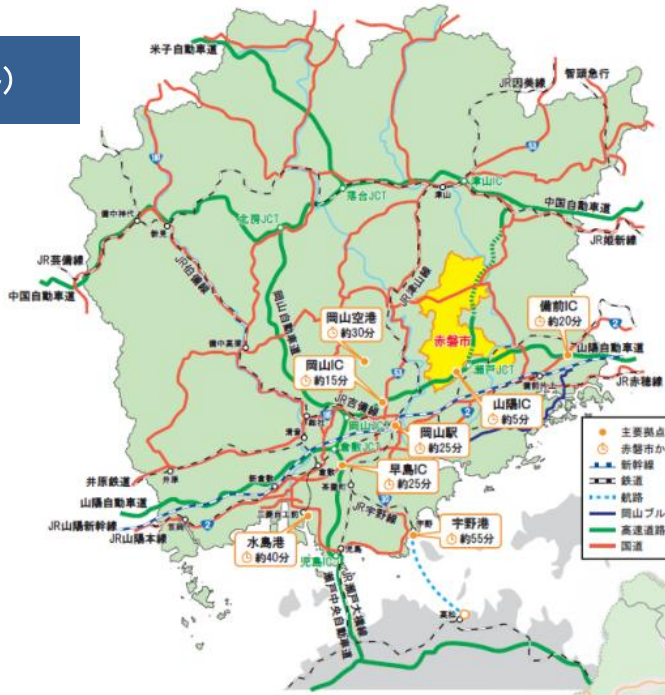




資料：赤磐市都市計画マスタープラン

地域交通（道路）

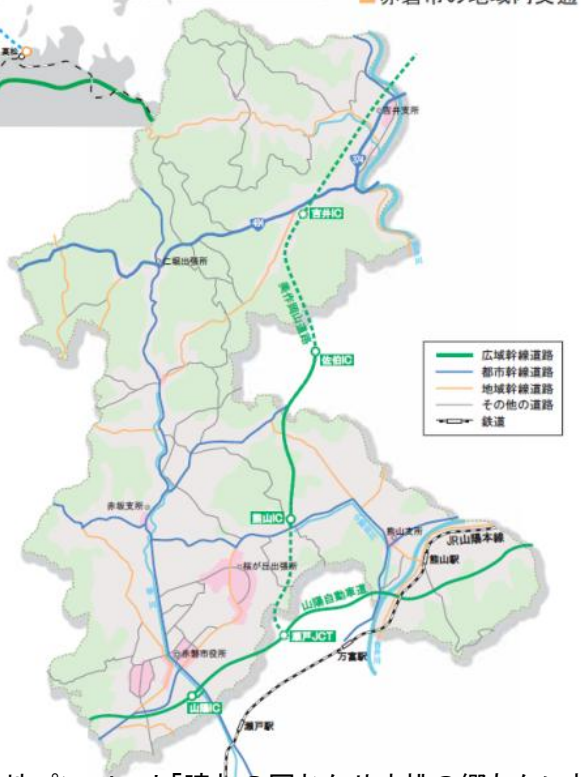
■岡山県の地域内交通



充実した道路交通網

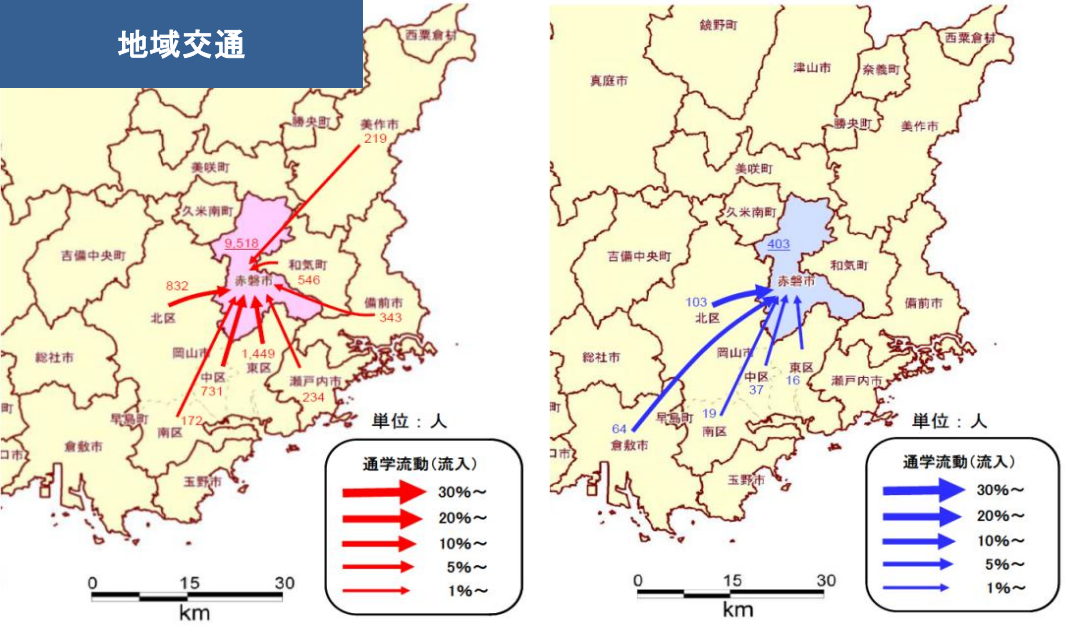
赤磐市は広域交通結節点となる県都に隣接しています。市の南部には山陽自動車道の山陽ICが位置し、南北には地域高規格道路の美作岡山道路や広域農道の整備も進められ、道路交通網が充実し、特に自動車での輸送や移動に優れています。

■赤磐市の地域内交通



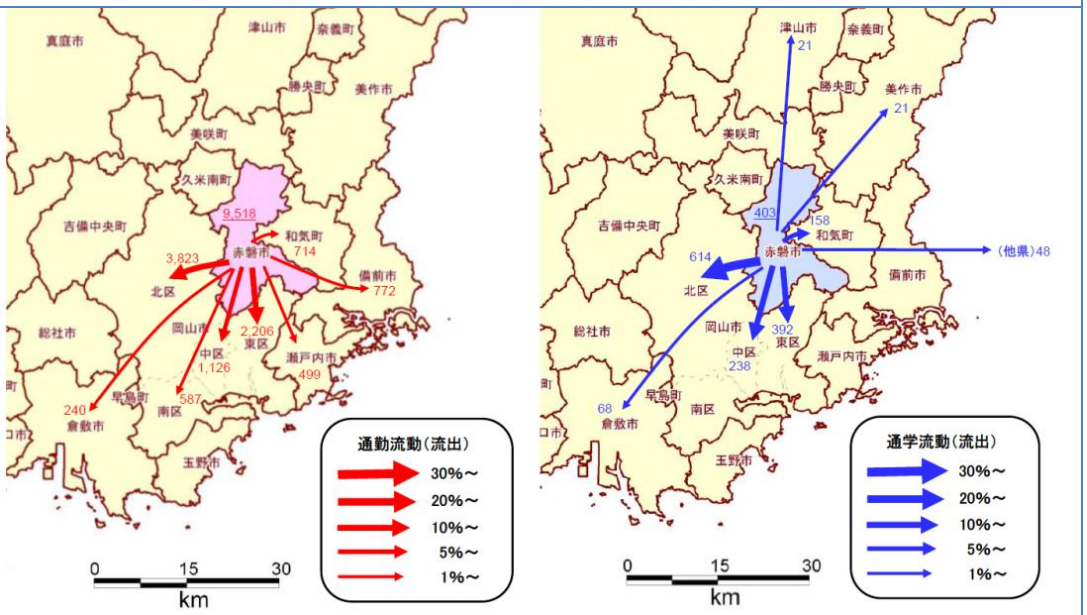
出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」

地域交通



資料：平成 22 年国勢調査

図 15　通勤・通学流動（赤磐市への流入）



資料：平成 22 年国勢調査

図 14　通勤・通学流動（赤磐市からの流出）

市外から市内に通勤・通学（流入）	地域	通勤（人）	通学（人）
	岡山市北区	832	103
	岡山市中区	731	37
	岡山市南区	172	19
	岡山市東区	1，449	16
	倉敷市	0	64
	備前市	343	0
	瀬戸内市	234	0
	美作市	219	0
	和気町	546	0
	計	4，526	239

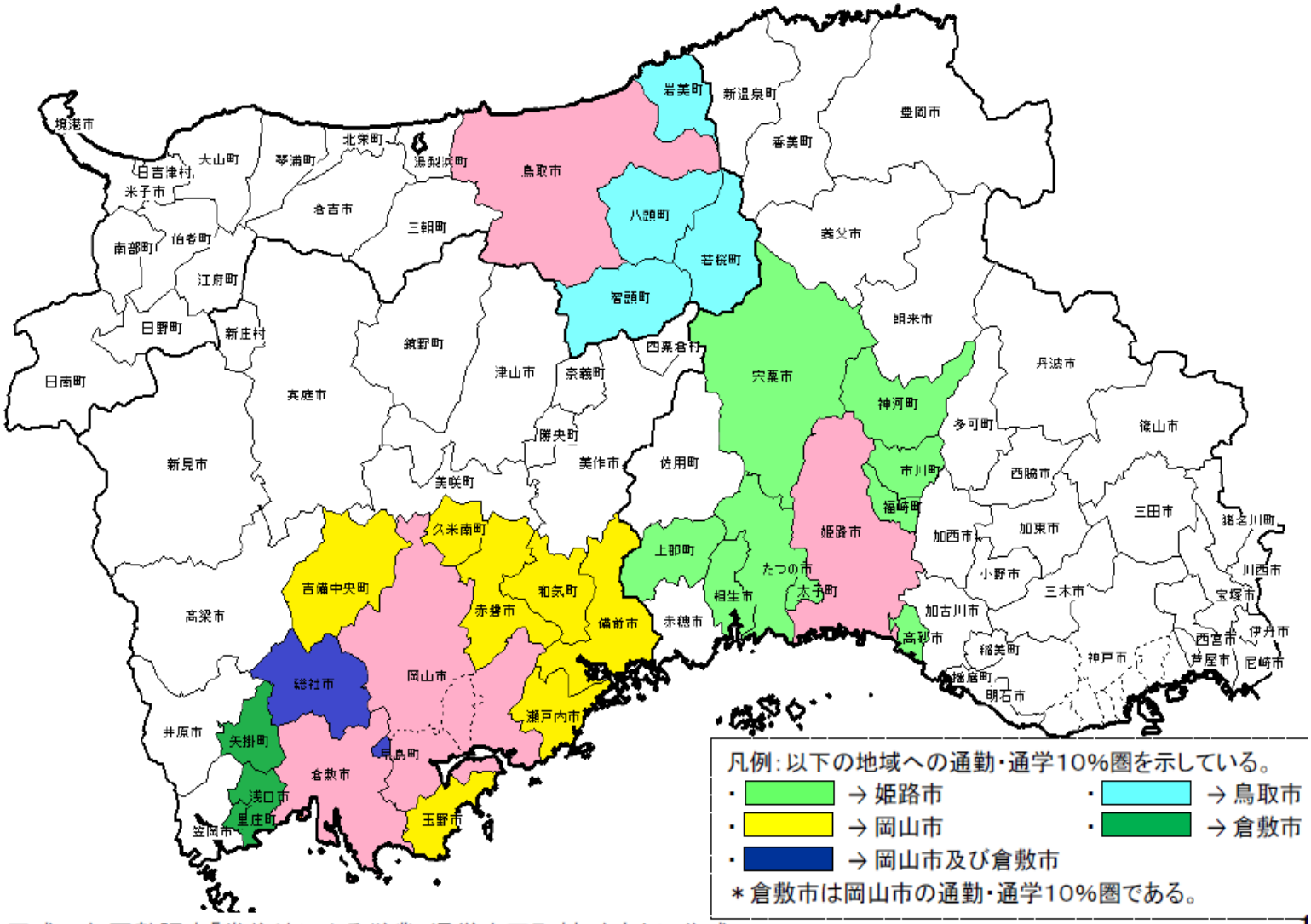
市内から市外に通勤・通学（流出）	地域	通勤（人）	通学（人）
	岡山市北区	3，823	614
	岡山市中区	1，126	238
	岡山市南区	587	0
	岡山市東区	2，206	392
	倉敷市	240	68
	津山市	0	21
	備前市	772	0
	瀬戸内市	499	0
	美作市	0	21
	和気町	714	158
	他県	0	48
	計	9，518	403

市内間での通勤・通学	通勤（人）	通学（人）
	9，518	403

合計	24，011	2，202

出典：赤磐市地域交通総合連携計画

地域交通



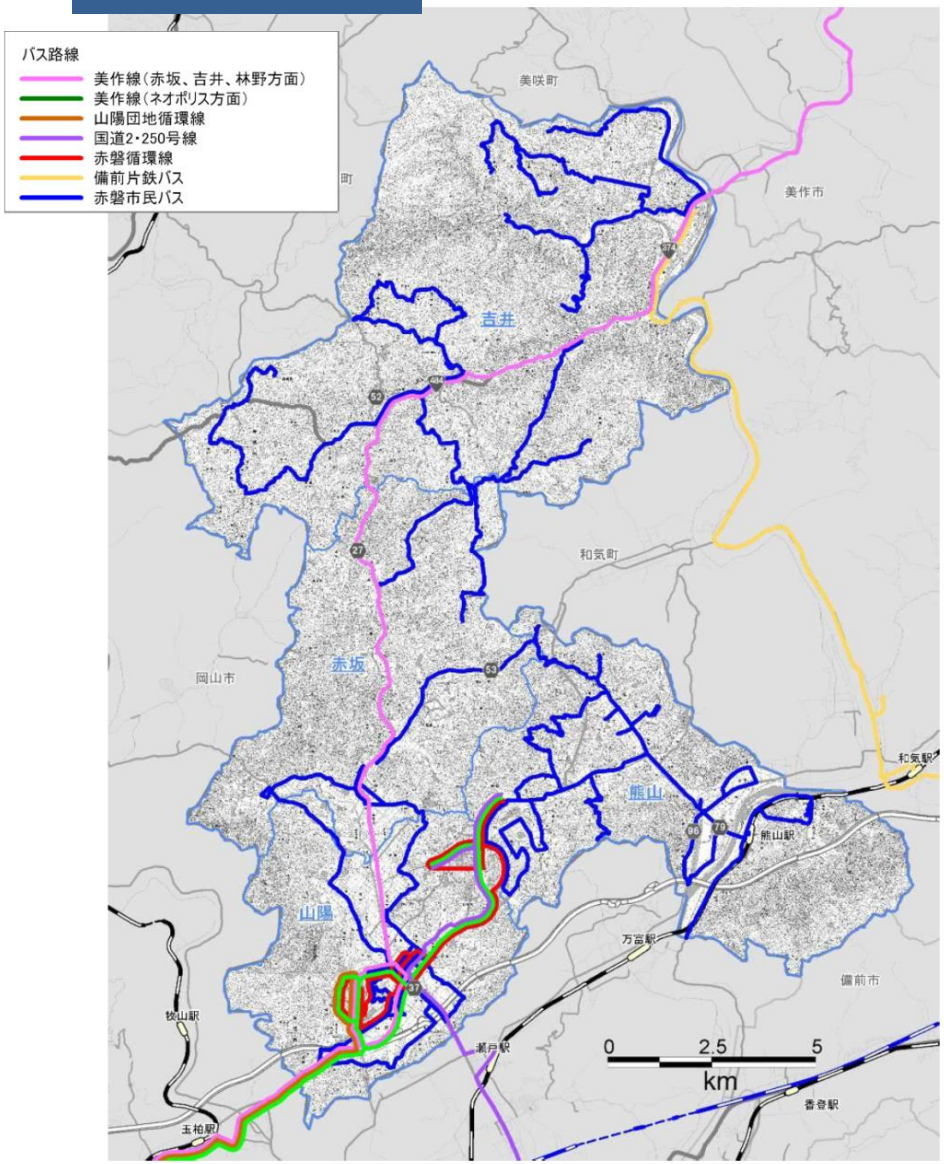
凡例：以下の地域への通勤・通学10%圏を示している。

- → 姫路市
- → 鳥取市
- → 岡山市
- → 倉敷市
- → 岡山市及び倉敷市

＊倉敷市は岡山市の通勤・通学10%圏である。

注）平成22年国勢調査「常住地による従業・通学市区町村」をもとに作成。

地域交通（公共交通）



民間交通事業者　路線	日運行便数
JR山陽本線熊山駅	朝夕1～4本／1時間、昼2本／1時間
美作線（町苅田・林野駅方面）	平日12．0往復、土日祝10．5往復
美作線（ネオポリス方面）	平日34．5往復、土日祝32．0往復
国道2・250号線（瀬戸駅・ネオポリス方面）	平日28．5往復（うち赤磐市発着12．5往復） 土日祝25．0往復（うち赤磐市発着10．5往復）
山陽団地循環線	平日9．0循環、土日祝6．0循環
赤磐循環線	平・土5．0循環
備前片鉄バス	平日5．0往復、土2．0往復

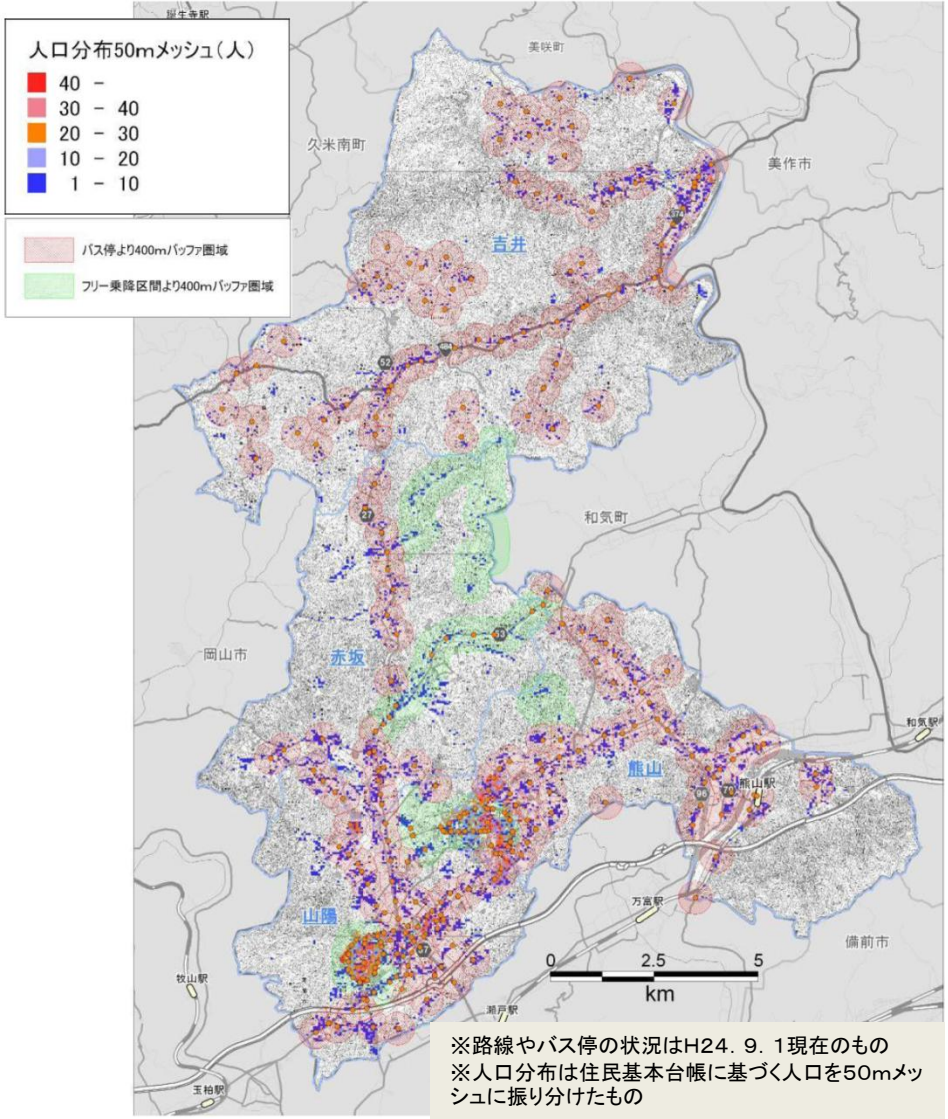
運行本数の目安
・60便／日＝1時間当たりおおよそ4便（15分間隔）
・30～59便／日＝1時間当たりおおよそ2～4便運行
・30便／日未満＝1時間当たりおおよそ1～2便運行

赤磐市民バス　路線	日運行便数
山陽・赤坂（西山・高陽南線）	月・木3．0循環
山陽・赤坂（高陽北西・高月線）	火・金3．0循環
赤坂（笹岡線、北佐古田線）	火・金1．0往復
熊山（可真・桜が丘東線、小野田線、豊田・熊山線）	月～土6．0循環
熊山（石蓮寺線）	月・木2．0循環
吉井（是里線、中山線）	月・木1．0往復
吉井（滝山線、河原屋線）	火・金1．0往復
吉井（西勢実線）	火・水・金1．0往復
吉井（中勢実線）	火・金1．0往復
吉井（暮田・平山線）	月・木1．0往復

※路線は平成 24 年 9 月 1 日現在のもの

図 11　公共交通の路線網の現状

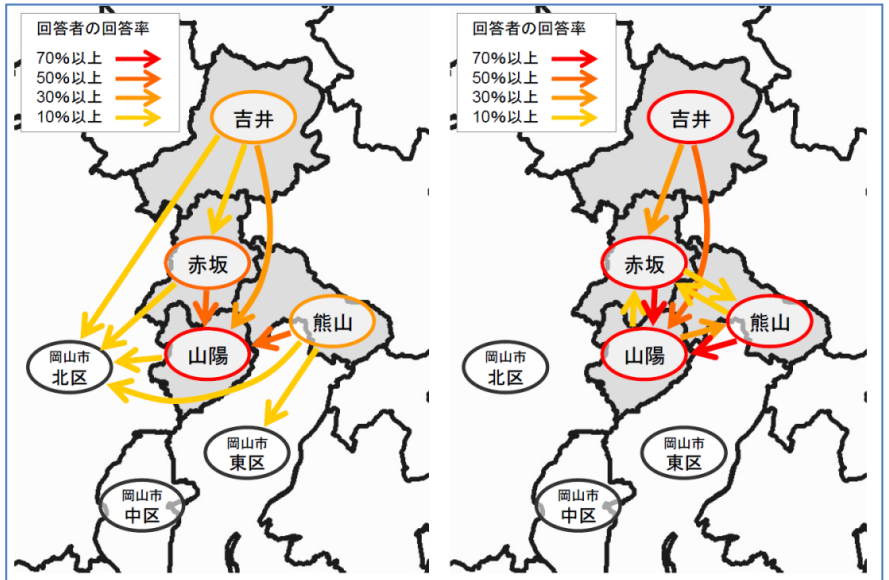
出典：赤磐市地域交通総合連携計画



※路線やバス停の状況はH24．9．1現在のもの
※人口分布は住民基本台帳に基づく人口を50mメッシュに振り分けたもの

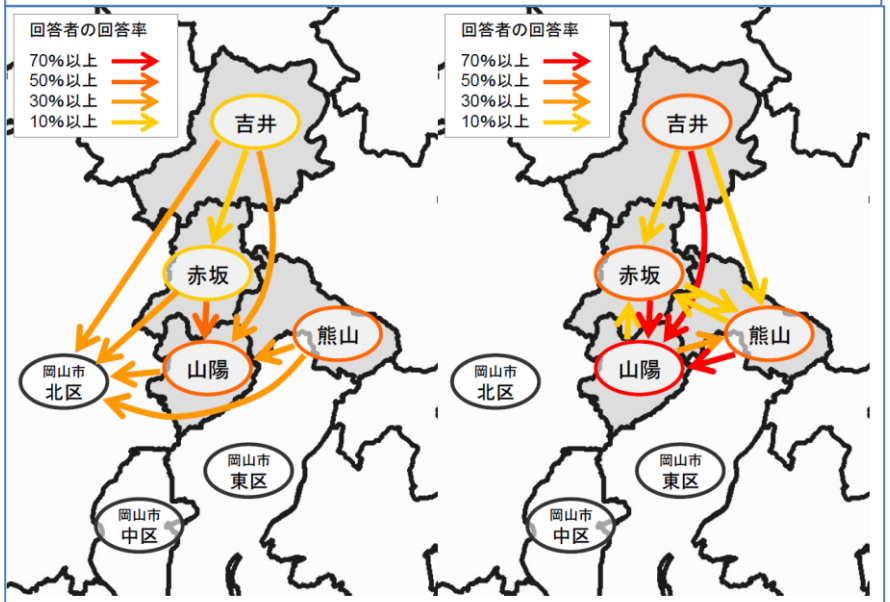
公共交通による人口カバーの状況（バス停、フリー乗降区間から400mを利用圏生きとした場合）

	山陽	赤坂	熊山	吉井	計
利用圏域内人口	24，070	3，663	9，920	3，940	41，594
利用圏域外人口	1，286	941	314	813	3，353
総人口	25，356	4，604	10，234	4，753	44，946
カバー率	94．9%	79．6%	96．9%	82．9%	92．5%



資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実施）

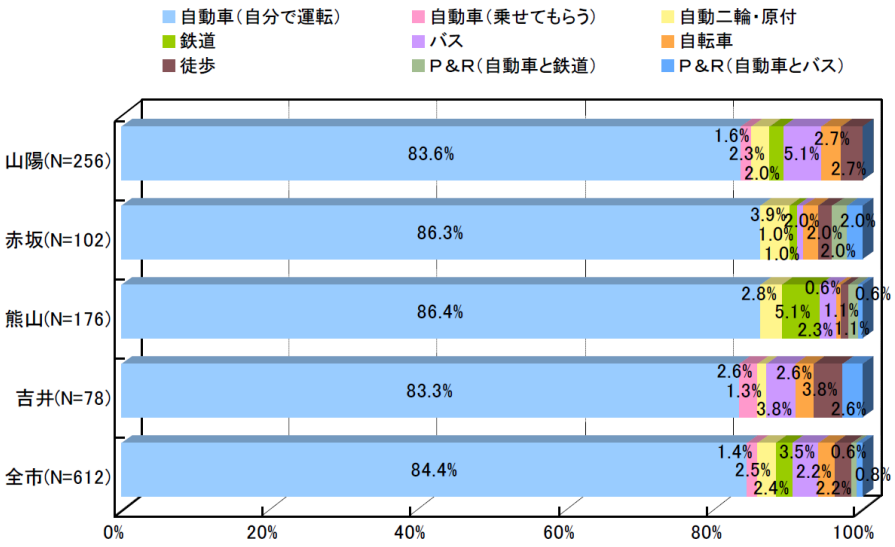
図 16　市内各地域の住民の通院・買い物移動の実態（左：通院、右：買い物）



資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実施）

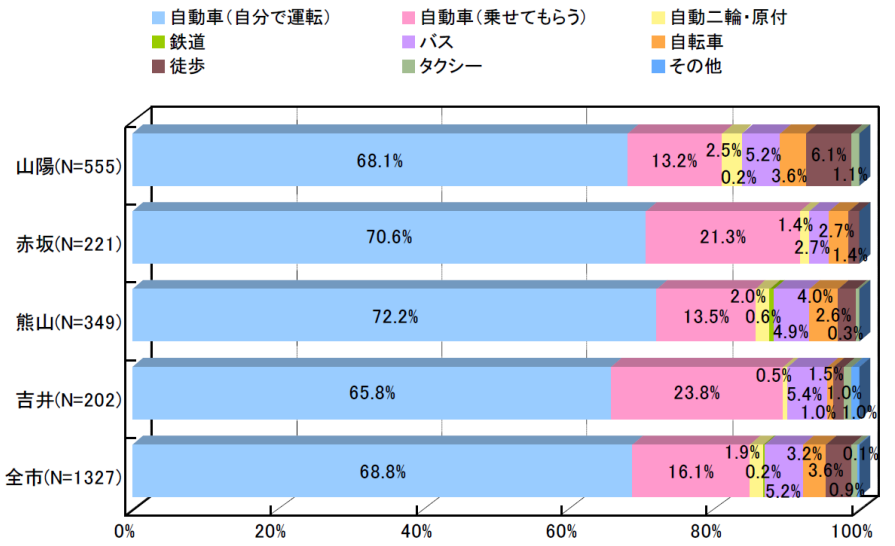
図 19　市内各地域の住民の通院・買い物移動の希望（左：通院、右：買い物）

出典：赤磐市地域交通総合連携計画



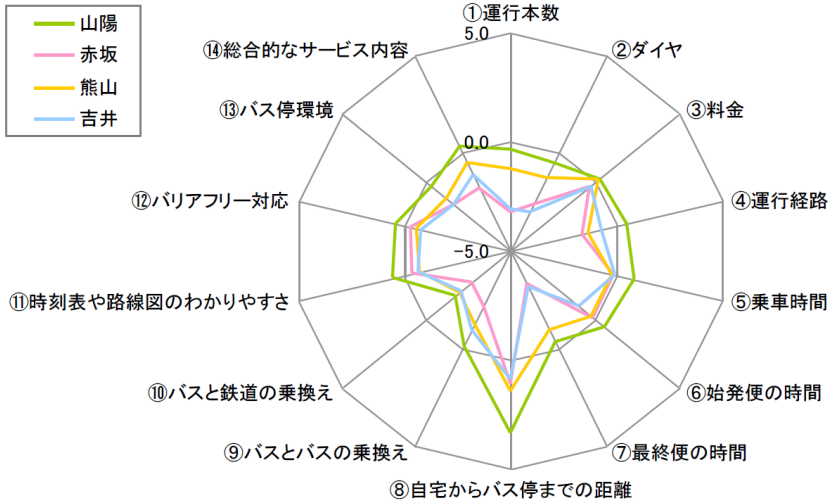
資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実

図 17　通勤で主に利用する交通手段



資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実

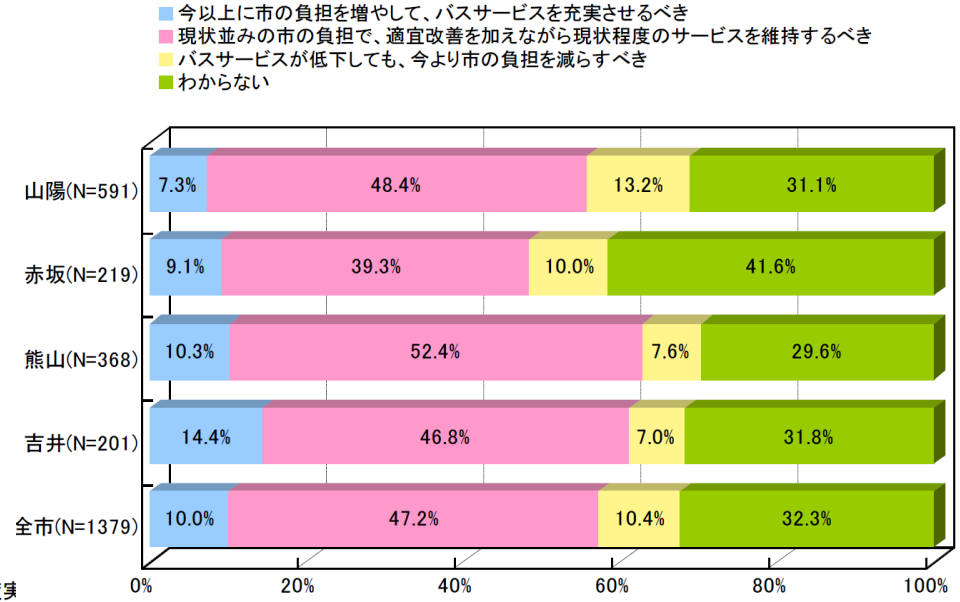
図 18　通院で主に利用する交通手段



注）満足度指数：各選択肢の満足度の評価値を「満足」10、「やや満足」5、「どちらでもない」0、「やや不満」-5、「不満」-10 と設定し、加重平均により算出している。「満足」を選んだ人の数（回答数）を a、以下 b、c、d、e とすると、満足度＝（10a+5b-5d-10e）／（a+b+c+d+e）となる。数値が高いほど満足度が高い。

資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実施）

図 20　現状のバスサービスに関する満足度指数



資料：赤磐市の公共交通に関するアンケート調査（平成 23 年度実施）

図 21　バスのサービス水準と経費負担に対する意向

産業３部門別就業者数

（単位：人）

年次 市町	総数 計	総数 男	総数 女	一次産業割合(率)	二次産業割合(率)	三次産業割合(率)	第一次産業 計	第一次産業 男	第一次産業 女	第二次産業 計	第二次産業 男	第二次産業 女	第三次産業 計	第三次産業 男	第三次産業 女
昭和60年															
旧山陽町	9,655	5,796	3,859	14.3	32.4	53.2	1,385	632	753	3,125	1,981	1,144	5,138	3,182	1,956
旧赤坂町	3,126	1,720	1,406	25.6	30.4	44.0	801	403	398	950	540	410	1,375	777	598
旧熊山町	3,235	1,894	1,341	19.1	39.1	41.8	619	339	280	1,264	785	479	1,352	770	582
旧吉井町	3,561	1,969	1,592	28.5	37.1	34.3	1,016	524	492	1,320	786	534	1,222	657	565
総数	19,577	11,379	8,198	19.5	34.0	46.4	3,821	1,898	1,923	6,659	4,092	2,567	9,087	5,386	3,701
平成2年															
旧山陽町	10,304	6,060	4,244	11.7	32.2	55.8	1,203	588	615	3,323	2,100	1,223	5,752	3,360	2,392
旧赤坂町	3,022	1,644	1,378	22.2	30.8	47.1	670	340	330	930	554	376	1,422	750	672
旧熊山町	3,299	1,950	1,349	16.1	39.4	44.4	531	292	239	1,299	817	482	1,466	840	626
旧吉井町	3,295	1,882	1,413	23.5	40.2	36.3	774	417	357	1,323	797	526	1,196	666	530
総数	19,920	11,536	8,384	16.0	34.5	49.4	3,178	1,637	1,541	6,875	4,268	2,607	9,836	5,616	4,220
平成7年															
旧山陽町	12,004	6,956	5,048	10.0	31.3	58.6	1,198	584	614	3,758	2,501	1,257	7,030	3,863	3,167
旧赤坂町	2,999	1,703	1,296	20.9	29.0	50.1	627	342	285	870	584	286	1,502	777	725
旧熊山町	3,605	2,107	1,498	15.1	36.6	48.1	546	320	226	1,320	833	487	1,735	951	784
旧吉井町	3,090	1,771	1,319	21.0	37.3	41.6	648	385	263	1,153	724	429	1,284	660	624
総数	21,698	12,537	9,161	13.9	32.7	53.2	3,019	1,631	1,388	7,101	4,642	2,459	11,551	6,251	5,300
平成12年															
旧山陽町	12,356	7,039	5,317	8.6	29.6	61.1	1,066	515	551	3,663	2,499	1,164	7,544	3,972	3,572
旧赤坂町	2,847	1,583	1,264	22.3	28.9	48.8	634	347	287	822	540	282	1,390	696	694
旧熊山町	3,806	2,207	1,599	10.8	36.0	53.1	410	235	175	1,372	885	487	2,021	1,085	936
旧吉井町	2,872	1,600	1,272	23.5	35.1	41.2	676	366	310	1,008	659	349	1,184	574	610
総数	21,881	12,429	9,452	12.7	31.4	55.5	2,786	1,463	1,323	6,865	4,583	2,282	12,139	6,327	5,812
平成17年															
赤磐市	21,860	12,206	9,654	12.0	30.5	57.1	2,620	1,462	1,158	6,668	4,454	2,214	12,474	6,231	6,243
平成22年															
旧山陽町	11,754	6,447	5,307	7.5	26.4	63.1	879	504	375	3,103	2,164	939	7,414	3,580	3,834
旧赤坂町	2,220	1,246	974	18.4	25.0	56.4	408	245	163	554	393	161	1,253	608	645
旧熊山町	4,488	2,535	1,953	6.9	34.0	58.4	311	206	105	1,524	1,050	474	2,623	1,263	1,360
旧吉井町	2,058	1,160	898	15.3	31.4	51.8	314	199	115	647	436	211	1,066	504	562
総数	20,520	11,388	9,132	9.3	28.4	60.2	1,912	1,154	758	5,828	4,043	1,785	12,356	5,955	6,401

注）1：5年毎に10月1日現在で行われる国勢調査の結果

産業

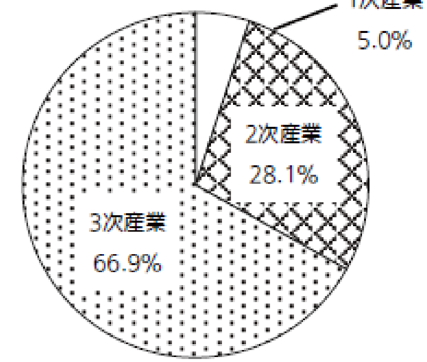
C−23　第２次産業就業者割合

順位	都道府県名	第２次産業就業者割合（%）
1	滋　賀	34.5
2	富　山	34.0
3	静　岡	33.7
4	岐　阜	33.6
4	愛　知	33.6
6	三　重	32.8
7	栃　木	32.0
8	福　井	31.9
9	群　馬	31.8
10	福　島	30.1
11	茨　城	29.8
12	山　形	29.5
12	長　野	29.5
14	新　潟	29.4
15	山　梨	29.1
16	石　川	28.7
17	**岡　山**	**28.1**
18	山　口	26.8
19	広　島	26.6
20	兵　庫	26.3
21	香　川	25.5
22	埼　玉	25.3
	全国平均	**25.2**
23	秋　田	25.1
24	大　阪	24.7
25	岩　手	24.6
26	愛　媛	24.5
27	徳　島	24.3
27	大　分	24.3
29	佐　賀	24.2
30	奈　良	24.1
31	京　都	24.0
31	島　根	24.0
33	鳥　取	23.1
34	宮　城	22.6
34	神奈川	22.6
36	和歌山	22.4
37	宮　崎	21.6
38	熊　本	21.2
39	福　岡	20.9
40	青　森	20.6
41	千　葉	20.5
42	長　崎	20.2
43	鹿児島	19.6
44	北海道	18.1
45	東　京	17.6
46	高　知	17.5
47	沖　縄	15.4

C−24　第３次産業就業者割合

順位	都道府県名	第３次産業就業者割合（%）
1	東　京	82.0
2	沖　縄	79.2
3	神奈川	76.5
4	千　葉	76.4
5	福　岡	76.0
6	大　阪	74.7
7	北海道	74.2
8	京　都	73.7
9	奈　良	73.2
10	埼　玉	72.9
11	宮　城	72.2
12	兵　庫	71.6
12	長　崎	71.6
	全国平均	**70.6**
14	広　島	70.0
14	高　知	70.0
14	鹿児島	70.0
17	香　川	68.6
18	熊　本	68.4
19	大　分	68.2
20	石　川	68.0
20	和歌山	68.0
22	山　口	67.7
23	島　根	67.4
24	愛　媛	67.2
25	鳥　取	67.0
26	**岡　山**	**66.9**
26	徳　島	66.9
28	宮　崎	66.6
29	青　森	66.4
30	佐　賀	66.2
31	秋　田	64.8
32	新　潟	64.3
33	福　井	64.2
34	茨　城	64.1
34	愛　知	64.1
36	山　梨	63.5
37	三　重	63.3
38	岐　阜	63.2
39	岩　手	63.1
40	群　馬	62.6
40	滋　賀	62.6
42	富　山	62.4
43	栃　木	62.1
43	静　岡	62.1
45	福　島	62.0
46	長　野	60.7
47	山　形	60.5

＜岡山県の産業別就業者割合＞



＜資料出所他＞

☆第２次産業とは、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業のこと

・調査時点　平成22年10月1日　（5年毎）
・算出方法

$$\frac{\text{第２次産業就業者数}}{\text{15歳以上就業者数}} \times 100$$

15歳以上就業者数には「分類不能の産業」を含まない。
・資料出所　総務省「国勢調査報告」

＜資料出所他＞

☆第３次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）のこと

・調査時点　平成22年10月1日　（5年毎）
・算出方法

$$\frac{\text{第３次産業就業者数}}{\text{15歳以上就業者数}} \times 100$$

15歳以上就業者数には「分類不能の産業」を含まない。
・資料出所　総務省　「国勢調査報告」

産業（農業）

●白桃、マスカット、雄町米や黄にらなど、豊かな自然を活用して全国的にも名を知られたブランド力の高い農産物の生産が行われている。

岡山県農林水産業パンフレット「おかやまの農林水産業 元気じゃ農！（平成26年1月）」から

区分	単位	岡山県	全国順位	全国シェア	全国上位3位	県内上位3位
水稲	ha (t)	32，700 (172,300)	19 (18)	2．1 (2.0)	1 新潟 117,500 2 北海道 112,000 3 秋田 91,100	1 岡山市 8,510 2 津山市 2,860 3 倉敷市 2,760
朝日	ha (t)	3，600 (19,000)	1 —	100 —		1 岡山市 1,576 2 倉敷市 726 **3 赤磐市 272**
雄町（酒米）	ha (t)	370 (1,444)	1 —	— (93.9)	1 岡山 370	1 岡山市 255 **2 赤磐市 100** 3 瀬戸内市 10
ぶどう	ha (t)	1，220 (16,700)	4 (4)	6．6 (8.2)	1 山梨 4,210 2 長野 2,430 3 山形 1,700	1 岡山市 300 2 倉敷市 23 3 高梁市 126
マスカット・オブ・アレキサンドリア	ha (t)	76 (750)	1 (1)	96．2 (94.9)	1 岡山 87 2 香川 2	1 岡山市 46 2 倉敷市 23 **3 赤磐市 3**
もも	ha (t)	680 (8,080)	5 (5)	6．4 (6.0)	1 山梨 3,510 2 福島 1,780 3 長野 1,170	1 倉敷市 175 2 岡山市 148 **3 赤磐市 101**
清水白桃	ha (t)	246 (2,923)	1 (1)	64．6 (70.6)	1 岡山 250 2 和歌山 94 3 大阪 13	1 岡山市 80 2 倉敷市 55 **3 赤磐市 29**
黄にら	ha (t)	17 (117)	1 (1)		1 岡山 17 2 栃木 7	1 岡山市 11 **2 赤磐市 6** 3 美咲町 1

産業（農業）

●農家数、経営耕地面積ともに減少傾向
●市北部では特に耕作放棄地の割合が高い。

農家数、農家人口及び経営耕地面積

（単位：農家数　戸，農家人口　人，面積　ha）

年次 市町	農家数						農家人口									経営耕地面積						
	総農家数	自給的農家	販売農家	専兼業別			総数	販売農家	男女別		就業状態別					総経営耕地面積	田	畑	樹園地	借入耕地	貸付耕地	耕作放棄地
				専業	第1種兼業	第2種兼業			男	女	農業だけに従事した世帯員数	兼業世帯員 農業が主の世帯員	兼業世帯員 農業以外が主の世帯員	農業以外の仕事だけに従事した世帯員	非就業人口							
昭和60年																						
旧山陽町	1,157			188	218	751	5,075		2,460	2,615	1,698	93	1,322	403	611	852	626	41	186			
旧赤坂町	890			115	89	686	3,650		1,764	1,886	1,007	80	1,322	240	361	633	532	48	53			
旧熊山町	927			113	58	756	3,933		1,894	2,039	977	35	1,386	276	531	590	501	42	47			
旧吉井町	1,166			198	172	796	4,462		2,186	2,276	1,275	96	1,442	337	583	733	607	92	34			
総　数	4,140			614	537	2,989	17,120		8,304	8,816	4,957	304	5,472	1,256	2,086	2,808	2,266	223	320			
平成2年																						
旧山陽町	1,014			208	130	676	4,412		2,150	2,262	1,650	79	1,092	308	515	826	615	31	180			
旧赤坂町	798			130	87	581	3,223		1,563	1,660	946	61	1,074	243	381	601	500	46	55			
旧熊山町	820			122	54	644	3,399		1,645	1,754	932	42	1,121	274	440	565	494	34	37			
旧吉井町	1,030			202	67	761	3,921		1,905	2,016	1,212	72	1,404	160	448	711	606	80	25			
総　数	3,662			662	338	2,662	14,955		7,263	7,692	4,740	254	4,691	985	1,784	2,703	2,215	191	297			
平成7年																						
旧山陽町	976			199	153	624	4,106		1,981	2,125	1,472	85	1,131	321	620	773	558	43	172			
旧赤坂町	700			131	95	474	2,739		1,318	1,421	822	66	909	241	383	576	487	41	48			
旧熊山町	732			127	59	546	3,003		1,459	1,544	869	52	940	319	463	504	436	33	35			
旧吉井町	914			203	116	595	3,309		1,617	1,692	1,049	103	1,060	229	476	617	533	64	19			
総　数	3,322			660	423	2,239	13,157		6,375	6,782	4,212	306	4,040	1,110	1,942	2,470	2,014	181	274			
平成12年																						
旧山陽町	929	150	779	163	86	530	3,837	3,289	1,603	1,686	1,280	61	966	245	401	730	539	35	157	130	54	54
旧赤坂町	659	124	535	121	46	368	2,523	2,096	1,029	1,067	717	60	692	153	251	536	458	38	40	145	48	25
旧熊山町	660	145	515	105	52	358	2,693	2,140	1,042	1,098	688	41	711	181	280	463	413	28	22	90	23	32
旧吉井町	815	197	618	156	28	434	2,905	2,308	1,139	1,169	838	67	742	159	280	558	494	50	14	105	27	75
総　数	3,063	616	2,447	545	212	1,690	11,958	9,833	4,813	5,020	3,523	229	3,111	738	1,212	2,287	1,904	151	233	470	152	186
平成17年																						
旧山陽町	912	232	680	177	107	396	3,359	2,659	1,284	1,375						665	461	23	138	128	64	78
旧赤坂町	607	163	444	130	41	273	2,029	1,584	782	802						508	420	25	32	158	56	31
旧熊山町	628	181	447	112	36	299	2,296	1,749	850	899						419	354	18	14	90	32	24
旧吉井町	718	231	487	154	44	289	2,331	1,729	849	880						479	390	35	10	108	31	69
総　数	2,865	807	2,058	573	228	1,257	10,015	7,721	3,765	3,956						2,071	1,625	101	194	484	183	202
平成22年																						
旧山陽町	810	227	583	188	90	305		2,104	1,017	1,087						595	438	29	128	141	66	57
旧赤坂町	541	152	389	140	35	214		1,348	657	691						515	449	33	33	157	64	28
旧熊山町	568	190	378	110	30	238		1,356	664	692						357	324	21	12	110	46	28
旧吉井町	644	224	420	144	37	239		1,345	668	677						425	381	35	10	140	34	85
総　数	2,563	793	1,770	582	192	996		6,153	3,006	3,147						1,893	1,591	119	183	548	209	196

注）5年毎に2月1日現在で行われる農林業センサスの結果である。

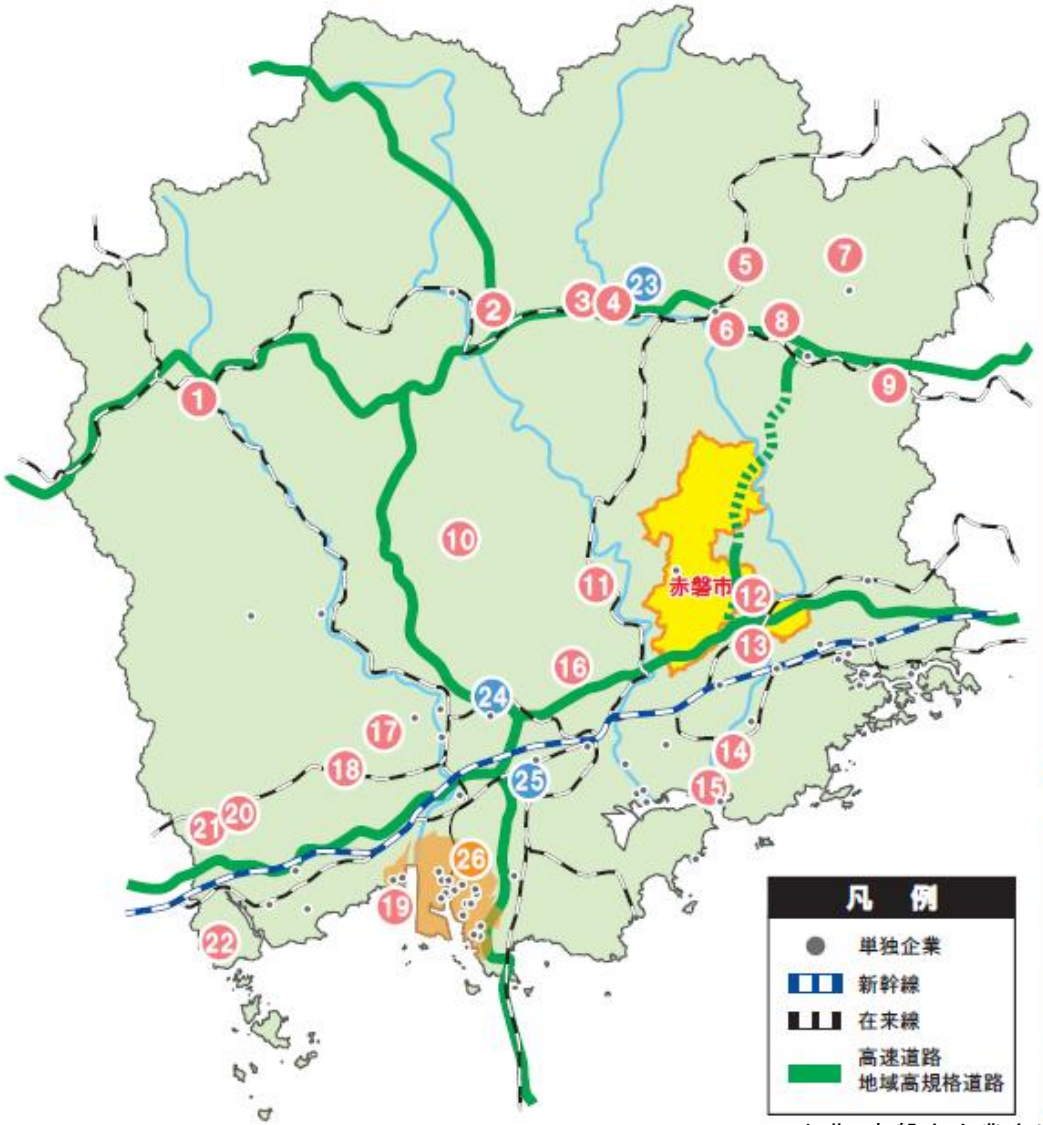
組織形態別集落営農数

全国農業地域・都道府県	計	法人					非法人
		小計	農事組合法人	会社		その他	
				株式会社	合名・合資・合同会社		
全国	14,717	3,255	2,808	424	16	7	11,462
中国	1,981	682	645	32	5	－	1,299
鳥取	266	54	53	1	－	－	212
島根	486	159	153	5	1	－	327
岡山	237	45	43	2	－	－	192
広島	666	238	214	21	3	－	428
山口	326	186	182	3	1	－	140

市町村	計	法人					非法人
		小計	農事組合法人	会社		その他	
				株式会社	合名・合資・合同会社		
計	237	45	43	2	－	－	192
岡山市	14	2	2	－	－	－	12
津山市	25	6	5	1	－	－	19
玉野市	3	1	1	－	－	－	2
総社市	14	3	3	－	－	－	11
高梁市	18	－	－	－	－	－	18
新見市	21	3	2	1	－	－	18
備前市	8	－	－	－	－	－	8
赤磐市	3	－	－	－	－	－	3
真庭市	43	5	5	－	－	－	38
美作市	13	2	2	－	－	－	11
和気町	5	－	－	－	－	－	5
矢掛町	8	4	4	－	－	－	4
鏡野町	9	4	4	－	－	－	5
勝央町	4	－	－	－	－	－	4
奈義町	7	7	7	－	－	－	－
西粟倉村	3	－	－	－	－	－	3
久米南町	3	1	1	－	－	－	2
美咲町	8	1	1	－	－	－	7
吉備中央町	23	4	4	－	－	－	19
上記以外	5	2	2	－	－	－	3

平成26年集落営農実態調査報告書

▶▶岡山県内の主な企業集積地



岡山県内には工業団地や流通センターがあり、自動車、精密、医療・福祉・健康・環境、食品・バイオ関連など様々な分野の企業が集積しています。

工業団地

① 新見工業団地	⑫ 熊山工業団地
② 真庭産業団地	⑬ 万富工業団地
③ 久米産業団地	⑭ 西大寺内陸工業団地
④ 院庄工業団地	⑮ 瀬戸内工業団地
⑤ 草加部・綾部工業団地	⑯ 岡山リサーチパーク
⑥ 津山中核工業団地	⑰ ウイングバレイ
⑦ 東山工業団地	⑱ 東三成工業用地
⑧ 勝央・勝央中核工業団地	⑲ 玉島ハーバーアイランド
⑨ 美作市・作東産業団地	⑳ 高月工業団地
⑩ 吉備高原都市産業区	㉑ 四季が丘団地（企業用地）
⑪ 御津工業団地	㉒ 笠岡港（港町地区）工業用地

流通センター

㉓ 津山産業・流通センター

㉔ 岡山総社 IC 流通センター

㉕ 岡山県総合流通センター

工業地帯

㉖ 水島臨海工業地帯

出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」

赤磐市内に立地する企業

赤磐市は県都に隣接する好条件のもと、市内の工業団地に多くの企業が立地しています。

福田工業団地
- ㈱キャットアイ吉井工場

仁堀工業団地
- モリマシナリー㈱
- 小野電線㈱岡山工場

坂辺工業団地
- 淵本重工業㈱

多賀工業団地
- 東洋コルク㈱岡山工場

テクノポール赤坂
- 大和ハウス工業㈱岡山工場
- ㈱ティムス

東軽部工業団地
- サッポロワイン㈱岡山ワイナリー

町苅田工業団地
- 間機設工業㈱岡山東工場
- ㈱ヰセキ中国岡山支社

山口工業団地
- ㈲赤坂建材
- 内山工業㈱赤坂工場
- ㈱NTN備前製作所
- 大阪アサヒ化学㈱
- ㈱三晃
- 富士鋼業㈱

西窪田工業団地
- ㈱アトム赤磐工場

県営熊山工業団地
- ㈱熊山LIXIL製作所
- ㈱放電精密加工研究所
- ㈱ラピート
- テイカ㈱熊山工場
- ブリヂストン物流㈱岡山事業所
- ㈱NTN赤磐製作所
- 大黒天物産㈱中国DC

あかいわ山陽総合流通センター
- ㈱ユー・エス・エス
- コーワン㈱

出典：赤磐市企業立地パンフレット「晴れの国おかやま桃の郷あかいわ」